大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可

昭和十二年七月十七日　新京日日新聞　（土曜日）　第五千二百二號　（一）

新京日日新聞

夕刊　七月十六日

本紙定價 一部五錢 一ヶ月壹圓　廣告料金 普通一行 壹圓五拾錢 特別一行 貳圓五拾錢

發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社 電話 編輯局專用(3)三二〇五 營業局專用(3)三二〇五

發行人 十河榮忠　編輯人 松本勇　印刷人 水越內之介

日本軍出動の報に支那極度に狼狽

眞の肚の底は未だ定らず こゝ兩三日中が岐路

【上海十五日發國通】支那側の最後的猛省を促す爲我方は引續き和平的努力を重ねつゝあるが、支那側は今なほ我方の決意を輕んじて誠意を解せず言を左右にして徒らに時日を遷延、しかして支那側現地軍民の背信行爲頻發は止まるところを知らず、かくて形勢は日一日と惡化し遂に日支の全面的衝突に突入しつゝあり、この重大時機においてもなほ支那中央當局は日本側決意の程度打診においても一定の結論に達せず、その結果事態解決の具體的方策には何等乘出し得ない有樣であるが、十五日夕日本軍が內地より一部出動するとの報を入れて極度に狼狽の色あり、和戰いづれをとるべきか、こゝ兩三日中にその肚を極めるべく餘儀なくされるに至つた

蔣、言論統制を命令

【上海十五日發國通】蔣介石氏は事變勃發以來時局の孕む重要性に着眼して嚴格なる言論統制の指令を發したが、中央黨部では蔣介石氏の意をうけて各地黨部新聞檢閲委員會に對し左の如き訓令を發した

一、現地情報はすべて中央通信社ニュースを基準とす　二、中國軍隊の動靜は一切掲載を禁止す　三、外交工作に支障を來すべき論說は禁止す　四、一定の指令あるまで事態不擴大の編輯方針をとるべし

事態解決唯一の途は 北平條約の承認あるのみ

英大使、王外交部長に進言

【南京十六日發國通】駐支英國大使ヒューゲッセン氏は十五日正午北戴河より南京着、午後四時半北支事變につき外交部長王寵惠氏と會見、英政府の意向を傳達、會談約一時間におよんだ、席上ヒューゲッセン大使は支那側が先般日支間に成立をみた盧溝橋事件に關する北平條約を承認することが北支の事態を紛糾より救ふ唯一の方法で、これを行はぬならば事變擴大の責任は當然支那側で負はなければならぬ結果となり、極めて不利な立場に陷るであらう、從つて體面を毀損しない程度に於て大局的見地から北支の時局に善處ありたいと英國側の希望を披瀝したと仄聞する

駐支英大使 日高氏と會談

日本側打診のためか

【南京十五日發國通】駐支英大使ヒューゲッセン氏は十五日日高參事官と會談したが、席上大使は北支における日支兩軍の衝突原因ならびにその後の經過を詳細に質問、これに對し日高氏は今回事件が廿九軍のわが軍に對する不法挑戰的行爲に基くことを力說、「今後における事變の擴大如何は支那側の出方如何による」と說明し、次で大使は「本會見は本國政府の訓令に基く正式的なものではないが」と前提し、「斯くの如き問題より事變を擴大することは双方のために不利であるから可及的速かに事變を現地において解決し、これ以上擴大せざるよう希望する」旨を述べ兩者間に相當突込んだ質問應答が行はれたが、大使が日高氏に對し會見申込んだことは本國政府の內意に基き日本側の肚をさぐり英國が正式調停に乘出す瀨踏みとみられてゐる

「動亂をよそに冀東は平和境」

青柳早大教授北支視察談

北支の風雲いよいよ急をつげる動亂の中をくゞりぬけ廿餘年前の教へ子たる冀東防共自治政府長官殷汝耕氏と通州で劇的會見をなし來國光の銘刀を寄贈し、師弟愛の温い懐に抱擁し心から殷長官を激勵した早大教授日滿中央協會評議員青柳篤恒氏は、同協會中神後藤兩常務理事等を同伴、十六日午前七時着列車で天津より來京、午前十時本社の森田社長、小野通信局長等を訪問動亂の北支狀況および殷汝耕氏の近況について語る

北支の動亂は長江丸のラヂオで聞きました、天津では皇軍の涙ぐましい活躍や在留邦人の健氣な活動を見て天津から通州へ行き、四年ぶりで殷君と會ひました、會ふまでは殷君は隨分苦勞をしてゐるので憔悴してはゐないかと心配してゐましたが、非常な元氣なのでうれしかつたです、大和魂の精華である日本刀を贈りこの刀の如く切れるやうになつて下さいといつて寄贈しました、二日間にわたり通州で會見の結果殷君の決心や遠大な抱負を聞き安心やら嬉しいやらで感慨無量でした、殘念なことには危險で北平に行けなかつたことです、然し通州は冀東政府が治安を完全に保つてゐますので、直ぐ近くの北平で動亂の最中だといふ感じは少しもなく本當の平和鄉でした、又天津では會へぬと思つてゐた醇親王に廿年振りで會ひました大分齡はとられましたがまだ非常に元氣でした

櫻內幸雄氏 北支を語る

【下關國通】約廿日間にわたり滿支を視察、動亂の北平を脱出した民政黨櫻內幸雄氏は十五日夜關釜連絡船で歸朝、直ちに東上したが、氏は語る

八日午後承德から北平に飛ばうとしたが、すでに南苑飛行場は廿九軍に占領された時であつたので承德で二日間を過し十日夜天津に飛んだ、天津ではいろいろなデマが飛び異常なる緊張を呈してゐた、十二日午前九時北平行きの汽車に乘つたが、永定河に到着したとき十五、六名の物凄い廿九軍の兵士が現れ劍銃を擬しつゝ身體檢査をやられたときに生きた心持はなかつた、北平では民團が籠城の決意をなすなど悲壯であつた、一方城內の支那人は殺氣立ち在留邦人にして暴行を加へられた者數知れず、私がゐるときでも被害者八名を出したほどである

特別議會は

豫定通り廿三日召集に決定

【東京國通】政府は北支事變の重大化に對しては嚴然たる帝國政府の大方針の下に所信の斷行を進めてゐるが、既に各般にわたり萬全の準備をしてゐるから特別議會は豫定通り二十三日召集することに決定し、それがため風見內閣書記官長は十五日夜私邸に近衛首相を訪問し、二十六日の施政方針演說においてなすべき首相の演說草案について協議した、なほ政府は十六日の閣議で議會における近衛首相の施政方針演說の要旨につき打合せを行ふことゝなつてゐたが、首相の缺席と北支の情勢から取止め二十日の閣議に延期することゝなつた

井上鄉軍會長

重大訓示を發す

【東京國通】帝國在鄉軍人會長井上大將は時局の重大性に鑑み十五日全國三百萬の鄉軍に對し左の重大訓示を發し全會員が國防第二線としての準備を完了、有事の際直ちに國策遂行の第一線に驀進せんことを要望した

果然極東の危機は北支において爆發し從來國防に關し巷間傳ふるところの暴論邪說は謬見なるを實證し國民をして時局の眞髓を確認せしめたるを信ず、こゝに至るよろしく朝野一致當面の事變に善處し、もつて皇威の發揚、國家の保護に全力を盡すべきなり、おもふに今次事變は局地的の突發事なるもその由來するところ實に國民政府傳統の策謀に基く抗日侮日にあること論を俟たず、從つて事變の擴大はもとより我等の欲せざるところなりと雖もこの機會において將來に對し拔本塞源の途を實現し、もつて極東平和永遠の基礎を確立するを必要とす、帝國政府は十一日重大聲明を發し對支外交上嘗て類例なき斷乎たる決意を中外に闡明す、これ實に擧國格遵すべき大方針なり、諸士宜しくこの豪壯なる決意を感銘しもつて國策遂行に驀進せんことを期すべし

杉山陸相

鄉軍に協力要請

【東京國通】杉山陸相は時局の重大性に鑑み十五日の地方長官會議に一場の講演を試みその協力應援を要請したが、十八日には在鄉將官八百名を九段の軍人會館に招待、協力を要請すると共に軍の根本方針と決意を披瀝することゝなつた

奧地邦人に對する危險刻々と迫る

＝天津堀內總領事報告＝

【東京國通】北支奧地における在留邦人の動靜に關し十五日在天津堀內總領事より外務省に左の如き報告が到達した

一、張家口方面には現在居留民約六百名あり、居留民の引揚げ費用に關し堀內總領事は同地駐在中根領事代理の要請に應じ爲替を送つたが、同地の事態惡化のためこれを現金に替へることが出來ず中根領事代理より重ねて至急飛行便にて現金を送られたき旨悲壯な要請があつた

一、太原方面には約卅名の居留民があり、同地方面の抗日氣勢惡化し支那群衆の邦人通行者に投石し、惡罵するなど暴狀甚しく萬一の場合同方面在留邦人の引揚げは非常に困難なるため、豫め自發的に張家口に引揚げを開始した

一、綏遠方面の居留民の數は判明せざるも事態漸次惡化の兆あり在留邦人は目下張家口に向け引揚げ中

一、鄭州方面には十數名の居留民があり、目下引揚げ準備中である

臺灣全島に

斷乎、支那膺懲の聲

【臺北十六日發國通】飽くなき支那の挑戰行爲に今や全島を擧げてこれが膺懲の聲澎湃と起り連日島內各地で州民、市民大會が開かれつゝあるが島都臺北でも島軍、新聞言論界、商工界、實業界その他各團體の合同主催のもとに十五日午後七時から市公會堂に大會を開催、聽衆堂にあふれ各辯士こもごも立つて暴逆非禮極まる支那を斷乎膺懲せよと叫び、强硬決議を滿場一致可決して政府要路に打電した

中央開戰せば

廣西派、反蔣に轉ぜん

【廣東十五日發國通】李宗仁白崇禧兩氏は表面中央擁護を標榜し中央の出兵命令を待つ旨通電を發したが、その眞意はこれを口實として所屬軍隊の大擴張を圖らんとするもので、廣東派は北支における日支衝突の歸趨に關しその見透しに苦しんでをり中央の開戰がいよいよ確實となれば一擧反蔣に轉ずる壯だと見られてゐる、なほ白崇禧氏は昨年の失敗に鑑み成功確實との見透しがつくまでは慎重なる態度を持する模樣である

我要求三ケ條 冀察側實行を約す

【北平十四日發國通】十三日今井武官より冀察當局へ發せられた

一、抑留日本人の釋放
一、北寧鐵道の開通
一、戒嚴の撤廢

の三ケ條即時實行の要求に對し十四日午後五時冀察常務委員賈德耀氏は冀察代表として大使館に對し

一、戒嚴令の即時撤廢は時局が平靜に復歸するまで直ちに實行は出來ないが、出來得るだけ速かに實行すること、且つ第二十九軍を戒嚴部隊たらしむることを避け公安隊員に一任する
一、前二項は直ちに實行し、且つ既に實行中である

と回答を寄せて來た

米紙評論冷靜

【ニューヨーク十四日發國通】デイリーニュース紙は十四日の紙上で「ハル國務長官」と題する社說を掲げつぎの如く論じてゐる

吾人は今次の北支事變に對し米國々務省の慎重な態度を賞讃するものである、滿洲事變當時のスチムソン前國務長官の態度は慎重を缺いてゐたことは人のよく記憶するところだ、英佛が利巧に背後に隱れてゐる間に米國は自ら好んで危險に直面したことさへもある程だ、ハル長官はワシントン駐在の日支兩國代表者に、極東における紛爭について種々忠言したが、別に具體的な方法についてはなんともいはなかつた、吾人は勿論極東においても平和のために協力するに吝かなものでないが、支那における英佛の利益擁護の手先に今度は乘つてはならない、英佛は勿論米國の友邦だが、國際間の友誼には限度がある、米國はスペインにおけると同樣アジアにおいても冷靜を失つてはならぬ

橋本參議 明日午後着任

新任滿洲國參議橋本中將は十七日午後六時廿分着「あじあ」で來京する

近藤儀一氏 總督秘書官に

關東遞信局經理課長から林內閣の秘書官に轉じた近藤儀一氏は林內閣挂冠後一時浪々の身となつてゐたが、今回朝鮮總督秘書官に就任十五日京城驛着列車で着任した

人事往來

着京

▲桒原數友氏（會社員）十五日來京ヤマトホテル
▲村井啓太郎氏（銀行頭取）同
▲古澤幸吉氏（會社員）同
▲田中末治氏（吉鐵運輸處長）同
▲染谷保藏氏（盛京時報社長）同
▲柴田四郎氏（染織美術）同
▲江島靜男氏（日滿漁業）同國都ホテル
▲內藤十郎氏（滿洲製糖）同
▲エドワードカーター氏（日本國際協會大平洋問題調査會事務總長）同
▲利行睦生氏（西安炭坑監事）同
▲西本八十一氏（官吏）同
▲龜田武吉氏（三久商事）同
▲木崎求雄氏（滿洲製糖）同
▲柳澤彌吉氏（滿鐵）同
▲植松義保氏（山梨縣吏員）同國際ホテル
▲山田龍彥氏（日本陶業）同
▲佐々木嘉三郎氏（鑛業）同
▲馬込信一氏（官吏）同
▲坂口半治氏（日本電池）同富士屋
▲石黑正義氏（同）同
▲後藤節郎氏（會社員）同
▲菅野和三郎氏（同）同蓬萊ホテル
▲中村安三氏（商業）同
▲高橋誠一氏（大林組大連支店長）同滿蒙旅館
▲高倉□氏（官吏）同
▲牧野鹿一氏（會社員）同
▲青柳篤恒氏（早大教授）十六日來京帝都ホテル
▲雨宮和良氏（會社員）同
▲後藤小太郎氏（日滿中央協會員）同

出發

▲安森勝太郎氏 十五日發ハルビンへ
▲渡利哲氏 同
▲松平正輝氏 同奉天へ
▲仁科向一氏 同
▲直具源一郎氏 同
▲佐伯寬四郎氏 同
▲島田善治氏 同
▲桐澤信六氏 同
▲松室港雄氏 同
▲伊木寬雄氏 同
▲野村龍太郎氏 同
▲宗像義人氏 同
▲中村又四郎氏 同
▲米倉豐氏 同遼陽へ
▲柴田保一氏 同本溪湖へ
▲天野長太郎氏 同大連へ
▲伊佐光二氏 同
▲小笠原勇氏 同吉林へ
▲鈴木伊八郎氏 同
▲岩間壽包氏 同
▲今村知光氏 同
▲橋本勝松氏 同鐵嶺へ
▲村山中氏 同延吉へ
▲松留吉氏 同チチハルへ
▲平田耕一氏 同東京へ
▲芦刈渉氏 同圖們へ
▲北村正良氏 同
▲倉八一氏 同ハルビンへ
▲森田秀治郎氏 同
▲服部亮英氏 同
▲菅谷市五郎氏 同

その日〱

□ 鳥起つものは伏あるなり、中央軍飛行機の北上でこの言葉を思ふ

□ 辭卑うして備へを增すものは進むなり、冀察のゼスチュアはこれに當るか

□ 旌旗動くものは亂るゝなり西南派の反蔣の動きはこれであらう

□ 靜にして幽、正にして治、わが武威は儼として北支の原野に在る

□ サイレン響けば瞬時にして闇、しかも愛國の熱火は漆闇のうちに燃ゆるを知る

白い天使（禁上演上映）

林房雄作　吉田眞里畫

（四二）求職（六）

せつかく弘子をみつけて、篠田のおかげでみのがしてしまつたのも、考へてみれば、篠田に惡意があつたわけでなく、自分がはじめから事情をかくしてゐたことが、原因なのだから、では一しよにさがしてやらうといはれると、秀夫はその好意が、この上なくうれしかつた。

心の中で、ありがたうをしきりにくりかへしてゐると

『おい、ぼんやりするなよ。お客が手をあげてゐるぜ』

と、篠田の大きなこゑ。

舗道ぎわの電柱のそばによりそつてたつてゐる洋裝の二人づれの方に、ぐつとハンドルをまわしながら

『こんなお客を、助手が見のがすつて法はないな——なまけるさ、首だぞおい！』

……』

話はそれきりになつた。

その日は、わりあひによく客がひろへた。

だが、日がくれはじめるさ、どうしたわけかさつぱり客がつかなくなつた。

圓タクには、はなやマーチャンのやうに、妙に運があつて、ひどくあたるときさ、まるであたらないときがある。

あたらぬときには、車をとめてしばらくやすんでゐるのがいちばんよかつた。

『おい、やすむぜ』

隅田川の川つぷち、濱町公園の近くにきたとき、篠田は、さしかゝる並木の木かげに車をとめて、のこのこ客席にはひこむさ、ごろりさ、そのまゝ、ねころんでしまつた。

秀夫も助手席にねこんで、夕ぐれの青い風の中に、ダツシュの輪をぽこぽこさふきあげるその音をきいてゐた。

川向ふのうす墨色の建物にうれた果物のやうな灯がついた……

『おい』

と篠田がよんだ。ふりむくと、いきなり

『おまへは、さつきの娘に心からほれてゐるさいつたな？……』

『うん』

思はず、あかくなつて

『たしかに、その娘と結婚するのだな——途中で逃げだすやうな、プルジョア息子のお定まりの戀愛はやらないだらうな？』

『どうしてそんなことをきくのだ？』

『おまへのやうな、ひまでぶらぶらあそんでゐるやつは、生活と正面からさつくむ必要がないので、さかく、ものごとを手輕にあつかひすぎるくせがついてゐるのだ』

『ぼくはちがふよ』

『ちがふさはいはせぬ——だいゝち、一度あつたばかりの娘に、一目でほれて……いや、ほれるのはかまわぬ。しかし、それですぐに結婚だなんださわぎまわるのは、かるはづみだぞ』

『しかし』

『しかしぢやない。結婚は重大事だ。二人の人間がいきるか死ぬかのさかひめだ。やる以上は充分相手をみきわめなければならぬ。そして、相手をみきわめるにはまづ自分がしつかりしてゐることが必要だ。だが、おまへはまだ、まるで、しつかりしてゐない』

『さうかなあ』

『たいしてわるい男でもないが、まだまだうわついてゐる……』

一部不心得者の爲 演習全般を破壞
非常管制の準備が足りぬ
昨夜の成績につき幕僚長談

昨夜（十五日）はじめて非常管制が實施されたがその結果は地上からみれば大體出來てゐた樣であるが、上空から觀察した成績は未だ充分とは申されない、本日（十六日）過去三日間の成績に徵して指導委員の打合せ會を開催した結果將來の演習に對し幕僚長より左の如き注意事項を傳達した

一、警戒管制から非常管制に移る動作が一般に緩慢であつて長きは五、六分を要してゐる、その原因は非常管制に對する準備が不充分のため空襲警報を聞いて始めて窓覆ひを持ち出すもの或は警報、サイレン等に對する注意不充分のため警察官等より注意を受けまたは他の家の實施をみてはじめて動作に取りかゝるもの等があつた

二、上空よりみるところによると殘された明りが相當に多い、殊に大同大街東側地區の附屬地、伊通河に沿ふ舊市街が目立つてゐた、これは主として二階以上の高い位置にある燈火、又は家の裏側にある燈火、例へば便所、浴場、台所等の電燈に對する陰蔽の處置が惡いものと判斷せらる

三、大部分のものが眞劍に演習に從事して居るに拘はらず一部の不心得者のために演習全般が破壞されてゐるといふ傾向は遺憾である、例へば夜十二時以後監視者の目の緩くなつた時期に煌々と燈火を點ける者、非常警報が鳴つてゐるに拘はらず馬車夫、乘客ともに馬車をとめて非常管制に移る處置を講ぜずそのまゝ走らせるもの、非常管制中にも窓に遮蔽設備を全然施す事なく單に消燈しあるため時々點燈して强烈な光りを發する家が見受けられるが、これは上空に對し最も明瞭な目標を呈するもので嚴に愼まれたい

四、昨日（十五日）も注意した通り警戒管制に移つた初期の實施が未だ甚だ不充分である

五、將來移動燈火の管制程度に就いては努めて檢査證を與へる方針であるから主として自動車側も取締當局も檢査證を標準として交通の整理に當られたい、なほ燈火管制實施の徹底は相當困難を感ぜられるので警察官防護團員の活躍は更に一層要求せらるゝわけである將來は特にこれ等の人の活動に協力するため市公署、在鄉軍人、國防婦人會等が積極的に働きかけることゝなつた

委員からの所見

なほ各委員の所見として次の樣な現象が遺憾な點として見受けられた

一、非常管制の場合の交通取締が不適當であつて或方面では片端から徒歩者の通行を禁止したため衝突が起つた

一、橫着な馬車夫は警戒管制と非常管制利用の二通りの

一、ランプのつけかへを行ふ台所の處置が不完全なので調査すると女中、使用人が居眠りをして警報を聞かなかつた

一、非常管制解除の警報を警戒管制解除と間違へたものがある

一、懷中電燈の減光處置が不完全なものが多い

各小學校兒童に非常召集下る
防空行事の後 航空少年團々旗授與式

新京滿鐵關係各初等學校では時局重大時に鑑み兒童に對し防空思想の普及徹底を圖るため十七日午前八時半から各校全兒童の非常召集を行ひ防空に關する講演、避難演習等を實施終了後正午から新京神社境內に於て過般結團式をあげた航空少年團の團旗授與式を擧行し關屋團長からそれぞれ團旗を授與するが各學校團員及關係者は洩れなく集合されたいと

附屬地衛生防護團 防護演習實習

新京附屬地衛生防護團では十六日午後零時半から防護演習を實施、團員一同新京醫院庭內に集合、塚本防護團長から團員に對し講話を試み、防毒マスク防毒衣の付け方を實習引續き二時から炎天を冒して防毒、救助、消毒、治療の演習に移り同四十分盛會裡に終了した

不平不滿の聲なし 喜ばしい現象

今次の防空演習に於ては時局を多分に反映したが參加全員中いやいや行ふ等の各種の不平不滿の聲は憲兵隊警察その他指導機關の報告によつても未だ當局の耳に達しないのは市民が國都の名に背かず本演習に對する理解が如何に深刻であるかを實證するものであつて、誠に喜ばしい現象であるとされてゐる

滿鐵對抗柔劍道 無期延期

十八日奉天滿鐵道場で開催豫定の滿鐵運動會各支部對抗柔劍道大會は都合により無期延期することになつた

非常管制直前 追剝 刑事を裝ふて

防空準備演習第三夜の非常管制に入る直前都下全警務機關及防護團總出動のもとに暗黑の街の警戒取締りに萬全を期すべく緊張を續けてゐる十五日午後九時五十分頃鐵道北三不管石炭運搬夫王鳴舜（二二）が石炭運搬のため西公園より興安大路に向ひ北安路康平街交叉點に差しかゝるや路上側らに置かれたコールタール罐の蔭より突然躍り出た丈五尺二三寸長衣の支那服を着た支那人があたかも警戒の取締りの任にある刑事をよそほひ「管制下に通行するとは何事ぞ」と」大喝威嚇して服裝檢査をなし所持金國幣五圓券二枚、一圓券二枚銀貨七十五錢計十二圓七十五錢を强奪して闇の中に姿を沒したが、警官としては態度不審とにらんだ王は直ちに當局に屆け出で始めて僞刑事と判明したものであるが時局柄大經路署を捜査本陣に極力捜査中である

國婦滿洲本部から激勵電を送る
北支國婦會員にも激勵電

國防婦人會滿洲本部では北支事變益す急を告げる十六日午前中同東條本部長の名をもつて在滿六萬會員を代表し、香月天津軍司令官及び國婦天津北平兩支部長宛左記激勵電を發した

遙かに貴軍將兵不眠不休の御心勞に對し六萬の會員を代表し心から感謝の誠を捧げ、益す銃後の後援に努力中でありますから、酷暑の折柄將兵御一同の武運長久をお祈り申上げます

天津軍司令官閣下

遙かに御心勞を深謝す、なほ銃後に固き力を加へらるゝ樣お祈り申上ぐ（同文）

國婦天津支部長殿
國婦北平支部長殿

日滿一体の精神 事變献金に結實
新京醫學校卒業生が先鞭

北支派兵慰問金は事態推移に伴ひ國都市民より續々と軍司令部に集つてゐるが新京醫學校第三回卒業生馬明汶君外三十一名は十五日卒業式終了後の教師招待茶話會を中止して金拾五圓を北支傷病兵慰問として献金した、滿洲國人では最初の献金で軍當局では感激してゐる

豆タク從業員 本社を通じ 百三圓献金
相ひつぐ赤誠に感激續く

國產タクシー、豆タクは國都名物として市中到る處文字通りマメマメしい健闘振りを續けてゐるが、さきに防空演習開始せらるゝや逸早く本社を通じて金五十圓也の防空献金を行ひ、國防運輸機關の一員として赤誠振りを示したがこゝに北支の風雲急迫を告げるや、國都は準備防空演習中で夜間は殆ど商賣のない現狀にも拘はらず、再び全從業員百三名は各々金一圓宛を醵出し十六日黑岩代表本社を訪問關東軍司令部に北支事變献金の手續きを取られんことを依頼して去つた、本社では直ちに軍司令部に献金の手續を取つた

支那人から皇軍へ慰問金
同胞に嫌はれる二十九軍

暴戾不法なる第二十九軍に對する非難攻擊はかへつて支那人有識者間に昂まりつゝあり北平市內より撤兵の聲はしきりに叫ばれつゝあるが、これに反し軍規整然たる我が忠勇なる皇軍に對する信頼尊敬の念はいよいよ厚くなり十五日には北平在住の一支那人が我が駐屯皇軍に金百圓の献金をなしその活躍を祈ると言ふ正に現時の支那ならではみられぬ笑へぬ献金美談が起つたと言はれる、然して支那側の國防献金と稱するものゝ實情は軍警當局が授業中の教室に突然闖入して學生よりその小遣錢を强制的に徵集し、それに美名を冠せるが如き種類のものが非常に多く、我が國銃後の赤心溢るゝ後援振りとは雲泥の差である

商業學力檢定 受驗申込は廿日限り

新京商工會議所が今秋はじめて實施する商業實務員學力檢定試驗は獨學中小店員諸氏に獨立自助の精神を振興せしめ、勉學向上の美風を養成することゝなり、延いては雇傭者に於ても利便尠くないものとして非常な反響を呼んでゐる、殊に特殊銀行會社で滿洲國人給仕諸君にこれを一種の資格試驗の如く看なし將來の登龍門たらしめんとする傾向もあり、大量規則書申込みを行つてゐる、なほ現在までの受驗申込みは三名であるが、その期限は七月二十日限りで期限間近に殺到するものとみられてゐるが受驗希望者は成る可く早く申込まれた方が雙方便宜である

なほ受驗科目は九科目あるも必ずしも全科目受驗の必要なく、自信あるものより合格して行つてもよいのである、しかしてその受驗指導に關する質疑講習會は來る九月一日から十六日に至る間各擔任講師によつて實施せらるゝが、受驗者の中にはこの講習會のみを受ければ受驗知識を全部修得出來得ると誤解してゐる向きもある、この講習會は單に受驗學科に對し質疑應答程度で、それまで各自が獨習せるところを整備するに役立てる位に心得なければならない、從つて試驗はあくまで平素のたゆまざる勉學によつてのみ合格出來得るのである

なほ受驗期日は九月二十三日から三日間に亘つて擧行せられる

精靈流しも延びて 盂蘭盆終る
施餓鬼に引きも切らぬ參詣者

盂蘭盆もけふで終り、滿鐵支社地方課主催の鐵道北共同墓地の無縁佛供養をかねて大施餓鬼會を始め各寺院には善男善女の參詣者が朝から引切りなしに出入して賑つた、映畫館も朝からお暇が出た番頭さんや子守り女中さんたちで大入滿員、防空準備演習中なので西公園潭月池の精靈流しは今年は舊曆七月十五日まで延期されて一寸淋しいお盆であつた

無縁佛の大施餓鬼
滿鐵の手で懇ろに行はる

新京鐵道北滿鐵共同墓地無縁佛の大施餓鬼は十六日午前十時から無縁佛供養塔の前で盛大に執行された、塔の前は滿鐵支社地方課長其他から供へられた花輪で埋まり大陸開拓のパイオニヤを慰めるに相應しい情景である、定刻地方課長代理稻葉庶務係長、岸水地方係長、小石澤主任、橘國消防、多田衛生兩隊長、各學校長等滿鐵關係者、地方委員、區長一般市民等着席、新京佛教聯合會僧侶會員の讀經裡に順次燒香をなし無縁佛の冥福を祈り主催側の挨拶があつて終了、引續き同墓地內新京驛殉職社員碑前に於て供養を捧げ稻川驛長以下驛員代表、滿鐵關係、一般市民多數參列燒香をなし盛大裡に十一時終了した（寫眞は無縁佛の大施餓鬼）

溺死 幼兒池に落ち 順天公園で

十五日午後一時ごろ特別市金輝路政府代用官舍居住清水榮藏氏の長女喜久枝ちやん（六）が近所の幼友達三人と順天公園に遊びに行き公園池畔で遊んでゐるうち喜久枝さんは突然足をふみすべらして池中に轉落した、驚いた三人は早速このことを家に急報したが頑是ない子供の足のことゝて兩親が現場に馳けつけたときは哀れにも喜久枝さんは水を多量に呑んで溺死してゐた、ついさつきまで元氣に遊んでゐた喜久枝さんの冷たいなきがらを圍んで兩親は今更の如く悲嘆の淚に暮れてゐる

雇人の死體を棄てる 人非人豆腐屋
生業の不振を恐れて……

既報、十二日午前九時頃梅ヶ枝町三丁目埋立地溝內に住所氏名不明の滿洲國人遺棄死體について死因に不審を抱いて新京署成松刑事が內偵中のところ死體の主判明とともに遺棄の裏面に恐るべき不正商人の介在せることが暴露した、死體の主は朝日通り豆腐製造業振興商店こと王秀亭（三〇）方使用人姜維新（三二）で姜は十一日夜八時頃（病名不明）で病死したものであるが王は醫師の診斷を求める場合萬一傳染病等であれば營業停止を命ぜられる事を恐れてその夜使用人王海濟（三一）に命じて死體を麻袋に包んで前記場所に遺棄せしめたものであるがさらに使用人中に賣れ殘りの豆腐を食して發病したものがあつたが醫師の診斷を受けしめずして家より追出しまた腐敗せる豆腐を賣出した事實等あるので目下調査中である、これに鑑み新京署衛生係に於ては左の如く語つた

夏季衛生の取締りは最も嚴重にはやつてゐるが時に當局の目をかすめて不正を働く不都合な商人がある、ことは遺憾である、ことに家庭の台所品例へば豆腐の如き賣れ殘りの腐敗せるものを再び販賣する等の人がないでもないから各家庭に於ては充分注意していたゞくとともに不正販賣品は發見次第直ちに屆け出てもらひたい

留守宅に押入る

特別市東光胡同都南寮內田末雄氏か十五日午前八時より午後五時に亘る不在中何者か入口施錠なきを奇貨として室內に侵入、洋服、ネクタイ、時計外數點時價百圓を竊取、內田氏より領警署に屆出でた犯人は目下嚴探中

病苦から自殺

朝鮮咸鏡南道生れ、特別市西七馬路王家胡同一四號居住朴春變妻金光國（四三）はかねて盲腸炎患ひ病床にあつたが全治の見込みも立たず、厭世感を起して五日午後四時頃自宅に於て服毒自殺を圖り五時死亡した

永春路市場 開設記念安賣

特別市公設永春路小賣市場に昨年七月開設以來新鮮な魚肉野菜其他の食料品を低廉に販賣し市民の好評を博してゐるが來る二十日は市場開設一周年に當るので利用者サービスの意味で記念大安賣りをなすべく着々準備を進めてゐるなほ豐樂路小賣市場でも先般專問店化を實施して面目大いに革まり活況を呈してゐるがこれ亦九月の開設一周年記念日を控へ大賣出しを計畫中である、これら兩市場の奉仕的大賣出しに對しては一般市民の利用を望んでゐる

故神田訓導遺骨

西廣場小學校訓導故神田貞房氏の遺骨は十六日午前八時發ひかりで瀨川校長を始め諸先生、教へ兒、父兄多數に見送られて未亡人、實父に護られて淋しく鄉里へ還送された

八島校運動場に全滿一の施設

八島小學校父兄會では十五日午後役員會を開き、同校體育器具購買の件につき協議を行つた結果、兒童體育向上の上最も有効適切な遊動橢、水平梯子、雲梯シーソー、最新式廻旋塔、綜合運動器具、船形シーソーの六種類を施設することゝなり總費用四千圓を父兄會から寄附することゝなり暑中休暇中には出來上り完成の曉は全滿一の運動場となる

長勇會盆法要 十八日執行

日露戰役の戰沒勇士並に物故會員の英靈を祀る新京長勇會の盆法要は十八日午後五時から東本願寺で執行することになつた、當日は遺族はもとより在京市民多數參列するやう望んでゐる、なほ一般市民から英靈に對する御供養は喜んでお受けする由である

あす（十七日）

▲防空演習豫行演習、午後八時より
▲硬球庭球選手權大會第一日 午後一時、中銀及三井兩コート
▲野球、慶應對電業、午後四時半、西公園球場
▲實業軟式野球準優勝戰
▲滿鐵各寮對抗相撲、午後三時半、西廣場小學校

今晩の主なる演藝放送

▲七・三〇長唄「船揃」（東京）杵屋勝太和外▲七・五〇寄席中繼（東京）―四ッ谷喜よしより―金原亭馬生外▲一〇・五マンドリン合奏（大連）

映畫と演藝

タンネンベルグ大會戰 けふからの帝都キネマ

帝都キネマ十七日よりの番組は左の如く獨プレゼンス作品にメトロ二番線を配した三本立編成である

▽獨プレゼンス「タンネンベルグ大會戰」歐洲大戰におけるタンネンベルグ大會戰を主題とした映畫で、この會戰は獨の寡兵を以つて露軍の大軍を殲滅せしめたことによつて有名であり、隨つてこの映畫製作意圖は獨逸側の意識的な宣傳が强く利いてゐる、興味を添へるために家と土地と妻子を捨て、死の前戰に進み悲壯の最後をとげる靑年の物語りが織り込まれてある、ハインツ・ポールの監督作品

▽メトロ「桑港」クラーク・ゲーブル、ジャネツト・マクドナルド、スペンサー・トレツシー、ジャック・ホルトの主演する映畫でW・S・ヴアンダイクの監督作品である、歌姬と街の大親分の戀の諍引きを中心に桑港を襲ふ大地震をヤマ場として神の愛を說いた娛樂品地震場面のスペクタクルは相當なものでマクドナルドの唄も仲々に愉しめる、ゲーブルとトレツシーの好演も洋畫ファンには忘れ難いものであらう、このやうなものを扱はしてはやはりヴアンダイクは偉大な職人である事が判る

▽メトロ「今日限りの命」ゲイリー・クーパー、フランチヨツト・トーン、ジヨーン・クロフオードを主演とする海戰映畫、戰場に活躍する健氣な女性と飛行士と海軍士官の戀のいきさつを抽く、ハーワード・ホークス監督作品

東寶ブロック製作本數

さきごろJOにおいて開かれた東寶企畫會の席上東寶ブロック東西の企畫根本方針並びに製作豫算等とともに東西各撮影所の本年九月より明十三年三月までの分擔製作本數が左のごとく決定した、即ち(東)PCL二十四本、東京發聲六本(西)JO十二本、今井映畫二十四本合計六十六本、これで東映は月十一本(內四本今井映畫作品)を配給することになるわけで、JOは十二本のうち一本は東寶ブロック總動員の特作となる筈

夏から秋へ 日活時代劇の製作陣

日活時代劇夏より秋へかけての作品は左の通り決定した

一、製作中のもの▼稻垣浩監督、千惠藏主演「曠原の魂」▼マキノ正博監督、阪妻花柳主演「戀山彥」怒濤の卷▼益田晴夫監督、澤村國太郎主演「八丁濱太郎」▼辻吉朗監督、澤村、大倉主演「俠山嶽隊」

二、近日着手のもの▼衣笠十四三監督、菊太郎、深川波津子主演「浮名三味線」第二話及び第三話▼尾崎純監督、千惠藏、轟主演「宮本武藏」後篇▼倉谷勇監督「題未定」▼久見田喬二監督「變幻若衆番」(主演者未定)▼池田富保監督、阪妻、千惠藏、山本嘉一主演「番門廻遊記」

三、企畫決定のもの▼角田喜久夫原作「妖棋傳」▼高山穆牛原作「横笛物語」▼辻吉朗監督「搖らぐ百萬石」▼長谷川伸原作「鐵火江戶侍」▼「意地ッ張り地藏」

▽完全犯罪△ コロムビア作品、「片道切符」のハーバート・バイバーマンが監督に當つた作品でエドワード・アーノルド、ライオネル・スタンダー、ヴイクター・ジヨリー、ジヨーン・ペリー等が主演、ビールばかり飮んでゐる變人の私立探偵ニロが、彼の愛好するビールの製造者である兄が殺されたことから犯人檢擧の大活躍となる、手頃な通俗作品、豐樂劇場上映中、寫眞はその一場面

メトロの「大地」

メトロが『大地』の映畫化を企劃したのは同著の出版後間もなくであつたが、具體的に諸計畫が進められたのは故アーヴイング・サルヴアーグ氏が歐洲旅行より歸つて來た一九三三年でストオリイの試作が出來上ると共にワシントン駐在支那大使の援助を得、更に南京政府の協力を求めて後メトロは『大地』撮影の遠征隊を上海に派し此處を根據に滯留一年餘に亘り映畫の雰圍氣構成及び背景の爲、上海北京間を撮影したがその使用フイルムは實に二百萬呎に達した、諸道具を購入したもの十八噸に上り、これ等はスタヂオに輸送された、メトロ社は更に支那の農土を再現させる爲ハリウツドを五〇哩離れたサンフランシスコ・ヴアレイに五〇〇エーカーの土地を購入し支那人の農夫を使用して耕作せしめ或は市街を建設する等支那本土の雰圍氣構成の爲莫大な費用を投じ、セット及び當ロケ地に於ての使用フイルムは八十萬呎に達したと謂はれる

さぼてん

サボテンでお馴染を重ねてゐたサロンキングの愛嬌もの愛子クン、何思ひきや乾岔子島事件勃發するや赤いソ聯の灯を見る北端の街にひた走りに出稼ぎに行つたまではよかつたが▼この程小夜子に寄越した便りでは着いて三日目にはホームシックとやらに罹りそこで矢張り新京が良かつたとか▼カフエータイガーの要さん、營口の話になると詳しいものです、而も驛前の〇〇樓埠頭の〇〇亭とあの方の通で昭和九年ごろまで向ふにゐたそうですが、花柳界のことが詳しいのであの子變だネーと心配してゐる客もあります▼キヤピタルダンスホールでは異色お盆の夕を催するとある盆踊りとはコレガホンマ、チト調子は違ふがドッコイ〻〻〻でお踊りなはれ

雜音

長春座「金色夜叉」の初日はいゝ入りを見せた、燈火管制が却つて逆効果を齎してゐるとも言はれる、添ものゝ「安兵衛役者」も喜ばれてゐるやうであつた▼帝都は寫眞替り、メトロ「桑港」の再登場が迎へられやう、「失はれた地平線」が頻りに宣傳されてゐるがこの週の添ものはメトロの「結婚クーデター」と決つたらしい、相變らず度胸のいゝプロである▼豐劇は廿日から特選プロを組んだ、廿、廿一日「ワルツ合戰」「ボレロ」「ロバータ」廿二、三日「彥六大いに笑ふ」「江戶ッ子三太」「兄いもうと」廿四、五六日「靑春ホテル」「晩餐八

七月十七日 土曜 舊六月十日 乙巳 先負 開 柳宿

●一白の人 一喜一憂を免れず業務吉なれば病に侵さる 庚と酉と丑が吉

●二黑の人 逸る心を壓えて他事を企てず定業を守り吉 乙と丙と丁が吉

●三碧の人 心の動搖を靜め人言に誘はれぬ用心が第一 申と壬と癸が吉

●四綠の人 既得の業務に專念して他事を企てぬが安全 辰と申と癸が吉

●五黃の人 氣運次第に逆轉する日起業開店普請皆な凶 乙と辛と癸が吉

●六白の人 千慮に一失ある日進まんより退くが極安全 丁と坤と辛が吉

●七赤の人 勝誇りて伏兵に慘敗する如し勢に乘るは凶 申と辛と丑が吉

●八白の人 華々しきは凶諸事地味に取り計らふが安全 辛と亥と壬が吉

●九紫の人 根氣以て幸運に乘すべき日熱心の功あり 卯と亥と寅が吉

九台溫泉 拾七日假營業開始

天與の靈泉と明眉なる風光に惠まれたる九臺溫泉は皆樣の御家庭の淸新なる慰安地こして娛樂を兼ねたる保健浴場たる大衆的施設をなし其工事の一部竣工せるに依り來る十七日より假營業を開始致すことになりました。

バンガロー

只今開業致しまするは溫泉及食堂付簡易旅館(部屋數十五)溫泉及賣店、敷物を備へ付けたる大衆休憩所(約二百人收容)納凉臺(約百人收容)共同溫泉附貸バンガロー(拾戶、四疊半一ヶ月參拾圓)等てあります。

此の外溫泉旅館、溫泉附夏座敷は只今工事中で近々竣工致します。

大衆休憩所(溫泉、賣店)

當溫泉の敷地は廣茫拾七萬坪にして山あり、川あり、森あり、空氣淸淨四季の眺め良く御子樣方の運動場は申す迄も無く水泳場魚釣り場も近々設備致しますし近代的施設と田園趣味こを加味した絕好の保健遊園地こして皆樣の御出を御待ちして居ります

(汽車の到着每に旅館のガイドが御出迎へして居ります)

簡易旅館 翠前莊

昭和製鋼製品以外も日滿商事で統制

既に鞍山鋼材と販賣權讓渡交渉

滿洲鐵鋼五年計畫の進捗と共に滿洲國に於ける鋼材販賣統制は日滿商事の手に依つて着々進められ既に昭和製鋼の製品は同社によつて完全に統制されてゐるが日滿商事では昭和製鋼製品のみならず鞍山鋼材その他滿洲國に於ける一切の壓延工場加工々場の製品をも統制する方針で鞍山鋼材に對しては早くも販賣權讓渡の交渉を開始したと云はれてゐる、鞍山鋼材は昭和製鋼よりビレツトの供給を受けて現在中山型一、五〇〇キロトン、中丸三〇〇キロトン、輕軌條五〇〇キロトン、重軌條三〇〇キロトン二、六〇〇キロトンを製作し販賣は日本鋼管大連出張所で取扱つてゐるが日滿商事では鞍山鋼材の販賣權を掌握すれば更に日滿鋼管、奉天中山鋼業、進和商會等々にも販賣權讓渡を迫り若し肯ぜざる場合は昭和製鋼よりの原料供給停止の强硬態度に出る模樣であり、また現在はフリーの狀態にある問屋の輸入をもゆく〳〵は日滿商事の手によつて日鐵の滿洲向鋼材同樣統轄せんとしてゐる模樣で滿洲國に於ける鐵鋼販賣統制に縱斷的橫斷的に完璧が期せられてゐる

滿洲曹達會社倍增產を決定

內地業者間では問題視す

滿洲曹達の操業は結局年末となる見込であるが、これが完成と共に愈よ問題の第一期倍產計畫に着手することに方針決定、內地曹達會社間に問題を投じてゐる、滿洲曹達は內地業者の猛烈な反對に逢ひ遂に再三計畫を縮少し日產百キロトンのソーダ灰に止めること、將來も內地を脅威するが如き增產を行はぬことを條件として創立されたものである、しかるにその後情勢の變化がさまでないにも不拘直ちに倍增產計畫に着手するといふことは內地側との約束を裏切るものであるといふにある滿洲曹達の方針に依れば倍產二百ンキロトが完成した場合にも內地に全然供給せず滿洲國並に北支方面その他輸出市場に消化し內地を脅威するが如きことは絕對に避けて行くもと見られるが第一期完成後直ちに倍產計畫を決定したことは問題視されてゐる

北支事變勃發に新京特產相場沸騰

滿獨通商協定延長近衞內閣成立等に多少の反撥をみた儀大勢漸落商狀を辿り、漸次夏枯商狀濃厚裡に六月二十九日當限六圓五十三錢と納會し、保合裡に上半期を終つた新京大豆相場は今次北支事變勃發と共に終に大暴騰を演じた、即ち事變勃發の九日より氣配俄然强調を呈し、其後事態の急迫化はいよいよ前記懸念を濃厚化し、十三日大豆七月限は六圓九十三錢と十六錢高、高粱七月限は三圓九十五錢と十八錢方暴騰を演じ各品鬪門に肉迫、夏枯商狀は完全に淸算し、十五日午前十時半現在新京相場は混保大豆七月限は七圓十三錢と寄付、高粱七月限四圓廿二錢と約二ケ月以來の高値を示現、出來高大豆二百

擔保利率引下げは國債優遇の意

金融懇話會で津島氏說明

【東京國通】日銀主催の金融懇話會は十五日正午より同行で開催、時局に鑑み國債市價の維持、爲替相場の安定問題等を中心に、金融界の自主的統制强化につき意見の交換を行つたが、席上津島日銀副總裁より

國債の市價維持及び爲替相場の安定については時局の重大性に鑑み、今後とも協力されたい

旨を述べ次で

今回の國債擔保利率の引下げは國債優遇の意圖に出たもので低金利政策の促進を意味するものでない

旨を說明、又

見返りに充當する社債については時局的に緊要と認められる社債を除き、從來通りの融通方針をとるものなること

を明かにしさらに北支事變の海外財界に與へた影響につき日本公債は若干低落をみたが圓爲替は却つて强調を示してをり海外における日本の各銀行に對する金融取引も何等支障を來してゐない

旨を說明した

國營檢查實施を機にゾロ單位廢棄

メートル法による瓦制へ

全滿各地方に亘り縣單位を以て設立準備中の農事合作社は今年九月より國營生產檢查を施行することに決定してゐるが、產業部では檢查實施を機會に從來收量單位として使用されてゐた「ゾロ單位」を廢止し、新たに滿洲國度量衡法に則り「メートル法」を適用することゝなり目下滿洲計器股份有限公司哈爾濱分局において瓦單位に基く收重檢定器を製作中である

而して國營生產檢查には穀物の品質檢查中收量檢查に關しても從來の「ゾロ秤」の使用を禁止し、新計器を用ふることに決定して居り、產業部では取急ぎ九月の檢查施行前に二千臺の計器製作を完了せしめる豫定であるが新計器完成後は滿鐵混保、取引所、糧穀市場、糧棧業者の全面に亘り一齊に「瓦制」を採用し「ゾロ」單位は完全に滿洲より消滅する筈である

八十四車、高粱十一車と漸增事變擴大豫想の氣配を移して連日暴騰を演じてゐる、殊に高粱は戰爭氣構へによる食糧品買占め氣配の擡頭に續騰を演じ、先行は北支の風雲とともに一齊に注目の焦點と化してゐる

熱河鑛山會社設立決定す

熱河方面に於ける鑛物資源開發のため今回設立されることゝなつた熱河鑛山股份有限公司は資本金百萬圓であるが實際の採金事業採鑛に移るに際しては相當に增資を行ふものと見られる、なほ資本內譯は滿洲採金二〇萬圓、滿洲國四〇萬圓、三井四〇萬圓である

新京六月の小賣物價概要

關東局文書課發表＝新京に於ける昭和十二年六月分の小賣物價を同月十五日現在に依り調査するに其の概要次の如し

一、騰落割合（重要品目三十六種に付算出）
前年同月に比し保合
前月に比し五分、四厘騰貴
昭和五年一月に比し指數一〇六、五即ち六分五厘騰貴
昭和六年十一月に比し指數一四三九即ち四割三分九厘騰貴

尙類別に依る指數を示せば次の如し（上より順に前月、前年同月、昭和五年一月、昭和六年十一月を一〇〇としての指數）

食料品（十種）　一〇〇、八　一〇八、五　一〇三、三　一三一、九
調味料（九種）　一〇〇、〇　一〇七、三　九五、七　一三三、五
食料及嗜好品（八種）　九八、七　九六、五　九七、一　一三〇、八
衣料品（七種）　一〇三、一　一一八、九　一二七、五　一八二、四
燃料（二種）　一〇〇、〇　一〇四、一　七六、五　一二一、七
總平均（三十六種）　一〇〇、五　一〇二、二　一〇三、〇　一三九、七

二、騰落品目（調査品目六十二種中前月に比し騰落したるものを掲ぐ）騰貴四種　馬鈴薯（四割）、綿ネル（一割七分六厘）鷄卵（八分三厘）晒木綿（五分六厘）
下落二種　玉葱（三割三分三厘）、サイダー、三矢（一割）
保合五十四種

奉天六月の小賣物價概要

關東局文書課發表＝奉天に於ける昭和十二年六月分の小賣物價を同月十五日現在に依り調査するに其の概要次の如し

一、騰落割合（重要品目三十六種に付算出）
前月に比し五厘騰貴
前年同月に比し七分二厘騰貴
昭和五年一月に比し指數一〇二・〇即ち二分騰貴
昭和六年十一月に比し指數一三六、七即ち三割六分七厘騰貴、尙類別に依る指數を示せば次の如し（上より順に前月、前年同月、昭和五年一月、昭和六年十一月を一〇〇としての指數）

食料品（十種）　一〇〇、〇　一〇七、七　一一七、六　一六八、七
調味料（九種）　一〇〇、〇　一〇〇、三　九〇、〇　一一〇、〇
飲料及嗜好品（八種）　九九、八　九九、一　一一〇、六　一三三、二
衣料品（七種）　一〇一、五　一一〇、一　一一五、〇　一六五、二
燃料（二種）　一〇〇、〇　一〇〇、〇　九〇、七　一三六、九
總平均（三十六種）　一〇〇、〇　一〇五、四　一〇六、四　一三三、九

二、騰落品目（調査品目五十九種中前月に比し騰落したるものを掲ぐ）騰貴三種　鹽鮭（一割二分）綿ネル（一割一分一厘）梅干白（六分七厘）下落五種　玉葱（三割）馬鈴薯（一割二分五厘）サイダー三矢（一割九分一厘）鷄卵（六分二厘）角砂糖（四分）
保合五十一種

村田省藏氏興銀參與理事に

【東京國通】興銀では參與理事阿部房次郎氏死去につき後任は大阪商船村田省藏氏と內定した

米國蘇子油關稅の減免方を要望

滿洲製油業者運動起さん

日滿兩國の對外輸出品中纖維工業品並に雜貨以外に於て重要なる地位を占めてゐた植物油が昨年八月米國政府の不當なる植物油消費稅の減課實施に依り一朝にして輸出停頓となり日滿兩國の植物油業者に對し致命的な打擊を與へてゐるが、農村とも密接な關聯がある事とて最近日滿兩國關係當局に於ても頗る事態を重視してゐる折柄製油業者間に於ても積極的に政府當局に窮狀を具申して米國政府の善意ある反省を促さんとする意見が擡頭し來りその動向は重大視されるに至つた、從來日滿兩國の米國向植物油輸出は一年間日本側より菜種油及蘇子油二千五百萬圓、カポツク油その他雜油六百萬圓計二千百萬圓、滿洲側大連港輸出九百萬圓總計四千萬圓に達し殊に日本の輸出植物油は年に依り多少の消長はあつてもその八割乃至九割は對米向であり昨十一年度に於ては內地植物油三千五百萬圓のうち米國向輸出は三千百萬圓を占めてゐる狀態であつたが昨年米國政府が植物消費稅を實施し一封度四仙半と云ふ現在相場の約八割に相當する禁止的高率を課稅したがため日滿植物油脂工業を全く危地に陷れる重大問題となつたのである

然るに米國は亞爾然丁の重要農產物たる亞麻仁油に對しては輸入稅の五割を戾稅として交付してゐる實情に卽して見ると右の植物油消費稅は特に日滿兩國の菜種油、蘇子油等の不當高率課稅と稱すべく加ふるに最近米國製油業者間に於ては原料蘇子の拂底から蘇子油消費稅に化し原料蘇子なりとして反對運動を起してゐるがこれは全く蘇子そのものゝ本質を解せぬもので若しこの運動が成功して蘇子が原料のまま輸出されるとせば日滿兩國の製調業者は忽ちその存在を脅かされるは必然的で相踵いで來たる植物製油界の災厄に近く何等かの形に依つて同業者間の意見を取纏めて日滿兩國關係當局に陳情し極力蘇子油消費稅の減免運動に邁進せんとする意見が闘はるるが客觀的狀態に卽したる意見だけに全國的に衝動を與へるべく製油業者の今後の動向は國際問題をバツクとして頗る注目されてゐる

土建ニュース

決定工事

▲第十廳舍新築工事　●營繕需品局
落札　六十八萬八千圓　淸水組

第一回
六八九、五〇〇、〇〇　淸水組
六九〇、〇〇〇、〇〇　大同組
六九三、〇〇〇、〇〇　福高組
六九三、五〇〇、〇〇　戶田組
六九四、〇〇〇、〇〇　錢高組
六九四、〇〇〇、〇〇　福昌公司
六九五、〇〇〇、〇〇　大林組
七一〇、〇〇〇、〇〇　高岡組
七一三、五〇〇、〇〇　淸水組
七一七、〇〇〇、〇〇　大同組
七二八、〇〇〇、〇〇　戶田組
七三三、〇〇〇、〇〇　福高組
七三五、〇〇〇、〇〇　錢高組
七四八、〇〇〇、〇〇　福昌公司
七四九、〇〇〇、〇〇　高岡組

▲瀋陽法衙廳舍改修工事
落札　三千五百八十五圓　大林組

▲政府職員休養所整備工事
栗槻　審陽土木　重松組
六、五〇〇、〇〇　新星社
六、四七〇、〇〇　油井工務所
共進組

示談　一萬四千二百圓　石井組

第二回入札
一四、五〇〇、〇〇　石井組
一四、八五〇、〇〇　右同
一五、〇〇〇、〇〇　辻組
一五、〇〇〇、〇〇　ハタ工務所
一五、一〇〇、〇〇　池市組
上木組

第一回入札
一五、五〇〇、〇〇　石井組
一六、五〇〇、〇〇　ハタ工務所
一六、八〇〇、〇〇　池市組
一七、五〇〇、〇〇　辻組
一八、八〇〇、〇〇　上木組

▲松花江堰堤工事倉庫新築工事　●水力電氣建設局事務所各官舍

（第一、二回入札の結果應札にて未決）

第二回入札
三九九、〇〇〇、〇〇　福昌公司
四一〇、〇〇〇、〇〇　大倉組
辭退　大林組　淸水組

第一回入札
四一五、〇〇〇、〇〇　福昌公司
四三八、〇〇〇、〇〇　大林組
四四〇、〇〇〇、〇〇　大昌組
四五七、〇〇〇、〇〇　淸水組

豫告工事

▲サラトンカ行住人家屋新築　●滿洲拓殖
開札　七月十六日

▲勃利電々社宅局新築工事　●電々會社
開札　七月十六日

▲四平街警察廳舍增改築工事　●營繕需品局
開札　七月十七日

▲奉天警察廳舍增築其他工事　●市公署
開札　七月十七日

▲長通路衞生隊分隊事務室其他新築工事
開札　七月十六日

▲鐵嶺屯南北街外街下水道築造工事
開札　七月十七日

決定工事

▲大連ヤマト、ホテル裏車庫　●大連保線區
路面修繕工事　百二十五圓五十七錢　秋山義孝
特命

▲鐵道研究所大連分所本館四九－一九號塗裝工事　春田塗裝
特命　八十五圓五十五錢

▲吉林市營住宅新築工事（內下種）　●吉林市公署
落札　十七萬四千九百六十圓　澁谷工務所

一七〇、〇〇〇、〇〇　長谷川組
一八一、五〇〇、〇〇　三田組
一八三、〇〇〇、〇〇　戶田組
一八五、〇〇〇、〇〇　鈴木組
一八七、〇〇〇、〇〇　錢高組
一八八、五〇〇、〇〇　淸水組
一八九、〇〇〇、〇〇　福井高梨組
一九三、〇〇〇、〇〇　長谷川工務所

商況欄（七月十六日前場）

海外經濟電報

倫敦金塊七磅〇志一片二分一
紐育金塊三五弗〇〇
同銀塊　四四仙四分三
倫敦銀塊　一九片一六分三
同先限　二〇片〇〇
紐育銀塊　五一留比一六分三
スチール株　一一一弗〇〇
アナゴンダ株　五五弗八分七

▲市俄古小麥
七月限　一弗二四仙二分一
九月限　一弗二七仙四分一
十二月限　一弗二九仙二分一

▲紐育棉花
現物　一二仙六〇
七月限　一二仙一〇
十月限　一二仙一二〇
十二月限　一二仙〇七
一月限　一二仙〇六
三月限　一二仙〇九
五月限　一二仙〇一

▲印棉
ブローチ　二一一留比
オームラ　二〇六留比
ベンゴール　一七二留比

▲カルカッタ麻袋
青筋　二四留比八分三
鐵筋　二二留比〇〇
英米爲替　四弗九六仙九
米支爲替　二八弗九九仙
日米爲替　二九弗六〇仙
日英爲替　一志二片〇〇分三
英支爲替　一志二片三三分九
日印爲替　七七留比八分三

金銀市況

●上海標金　一二四三、〇〇
本寄
歩

爲替相場

▲上海爲替
▲日本向
第一回　賣　一〇一、七〇
　　　　買　一〇二、五〇
▲倫敦向
第一回　賣　一志二片四分一
　　　　買　一六分五
▲紐育向
第一回　賣　二九弗一分一
　　　　買　一六分九

▲阪神日米爲替　二八弗[illegible]
▲阪神日英爲替　一志二片[illegible]
▲滿洲中銀爲替
上海向　九八弗五〇仙
天津向　九八弗五〇仙
紐育向　二九弗〇〇
倫敦向　一志二片

各地株式市況

▲東京株式（短期）
▲大阪株式（短期）
▲大連株式（短期）
▲奉天株式（短期）

[illegible]

各地商品市況

▲大阪綿糸
▲大阪棉花
▲大阪人絹

[illegible]

各地特產市況

▲新京
現物（一石建）
●大豆
●高粱
●豆粕
▲大連
●大豆
●豆油　現物　七月限　八月限　九月限

[illegible]

滿洲國經濟部發行福民獎券中彩號票

第四十回福民獎券中彩號碼

康德四年七月二十日起在本部指定各當地代賣所（限得彩金未滿壹百圓者）及滿洲中央銀行各地總分支行（限得彩金在壹百圓以上者）憑獎券兌付得彩金（同組號數六己戊丁丙乙甲）

康德四年七月十六日　滿洲國經濟部

頭彩 壹萬圓(1)	三彩 壹千圓(1)
3,727	34,716
附彩 壹百圓(2)	附彩 伍拾圓(2)
3,726 / 3,728	34,715 / 34,717

15,784　15,913　19,310　25,751　29,020　30,911　31,301　32,937　35,397　[illegible]

2,792　3,638　5,772　6,115　8,736　10,702　11,043　13,937　15,425　18,475　19,365　19,995　23,780　24,190　24,531　24,802　25,799　27,345　28,385　[illegible]

41,236　41,269　42,632　44,252　44,776　44,867　45,226　46,463　46,792　47,443　48,873　49,311　49,553

[illegible]

46,018　46,081　46,342　46,391　46,396　46,452　46,486　46,503　46,612　46,674　46,695　46,697　46,794　47,090　47,101　47,103　47,149　47,201　47,397　47,601　[illegible]

48,651　48,701　48,778　48,829　48,875　48,900　49,129　49,138　49,395　49,595　49,705　49,736　49,832　49,846　49,860　49,894

大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可

新京日日新聞

朝刊

【本紙朝夕刊十二頁】

定價 本紙一部五錢 一ヶ月壹圓 郵税一ヶ月拾五錢
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ二 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(3)三二〇五 營業局專用(3)三二〇〇
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越内之介

安平支那軍、百名の伏兵擁し
我軍に對し一齊射擊
寡兵以て應戰・武裝解除す

【天津十六日發國通至急報】十六日午前八時過ぎわが軍〇〇部隊が安平（天津、通州の中間）に入らんとするや、同地に據る支那部隊監視兵より亂射を受けて激戰となつた、支那兵は狼狽し警鐘を亂打して非常を告げ、約百名の伏兵はわが軍に向つて一齊射擊を開始した、わが軍は寡兵ながらよくこれに應戰、敵陣地に突入して同部隊を大部分武裝解除した、支那側には死傷者相當ある見込みで本戰闘は日支軍衝突以來の華やかな戰勝振りである、かくの如く支那兵の不法行爲續くにおいては事態の平和的解決は愈よ困難視されるに到つた

山西省境一帶地區に
支那軍約三十師を集結

【東京國通】陸軍省發表＝北支方面へ移動中の支那軍は主力をもつて平漢線に沿ふ地區を、またその一部をもつて津浦線および平綏線に沿ふ地區を前進中のごとく、十五日までに隴海線以北山西省境一帶地區に集結せる兵力は平時兵力と合しすでに約三十師に達した

沈市長緊急首腦會議
日本軍との交戰を決意

【青島十六日發國通】何應欽氏は青島特別市長沈鴻烈氏と對し對日抗戰に關する中央の意を通達した、沈氏は直ちに緊急首腦部會議を開き對策を密議したが、強硬論が大勢を支配し沈氏は麾下の保安隊約二千と、元東北海軍であつた第三艦隊を率ひて中央派遣の税警團と協力し、場合によつては日本軍と交戰する決意を固め、既に高級幹部に密令を發したといはれる

日本を支援
阮大使、堀内次官に表明

【東京國通】滿洲國阮大使は十六日午後二時三十分外務省に堀内次官を訪問 滿洲國は北支事變に對する日本政府の處置に全力を擧げてこれを支援し、東洋平和のため文武官民の御努力に敬意感謝を示し、併せて戰死傷者に哀悼と同情の意を表明する と述べ午後三時辭去した

北支事變畫報

（1）十三日午前十一時南苑地方の馬村に於ける日支兩軍の衝突に於て名譽の戰死をした我三勇士の遺骸を豐台〇〇隊本部裏庭に於て戰友の手によつて荼毘にふさる同式に參列の各部隊長、左より河邊〇團長、牟田口隊長外各〇隊長

（2）第一線の蘆溝橋〇隊本部に活躍する豪勇筒井〇隊長

（3）日支兩軍が數度の激戰をなした蘆溝橋鐵橋下に敵軍を監視する我が哨兵

（4）第一線蘆溝橋筒井部隊本部におけるのどかな陣中風景

廿九軍の服裝で
中央軍、保定に入込む

【漢口十六日發國通】漢口經由北上の支那軍はいづれも腕章を取り外して所屬部隊を不明ならしめてゐるが、情報によれば、保定附近には中央軍の將兵が第廿九軍の服裝にかへて多數入込み、中央軍の河北省侵入をカモフラージュしてゐる、彼等は抗日戰意に燃え上つてゐる少壯將校ならびに兵に對して上層幹部は抑へ得ない有樣である

北支事變に關しては
第三國介入拒否
外務不動の方針堅持

【東京國通】北支事變に關する英國政府の提案につき種々傳へられるが、わが外務首腦部は今後における英國の出樣に關し左の如き見解と萬全不動の對策を堅持してゐる
一、英國は今次事變發生の原因は全く支那側にありとの正しき認識を把握してゐる模樣であるから、英國が本問題の解決に乘出すとしても先づ日本側の意向を充分確めたる上その意を體して支那側に對し勸告をなし、わが國に對しては干渉がましい態度に出ることはないものとみてゐる
一、若し假に英國が單獨乃至米佛等を語らひ干渉がましき態度に出ることあれば、上海事變等における從來の例に鑑みわが國の傳統的外交方針たる第三國介入を許さざるの建前に從ひ日支兩國の問題は兩國の交渉により解決を期するといふ方針を堅持して干渉を拒否する

各地新聞委員會へ
開戰決意の指令

【上海十六日發國通】國民黨本部が蔣介石氏の意をうけて全支各地の黨新聞檢閲委員會に對し「一定の指令あるまで事變不擴大の編輯方針をとるべし」との指令を發したことは一定の時期に至れば事變不擴大以外の編輯方針をとらしむることあるべき旨を言外に含めたる不穩極まる指令にして南京政府は近く事變不擴大主義の放棄を決意し、開戰行動に出でんとするものであることが明かにされた

支那陸大閉鎖
學生、原隊歸還

【東京國通】十六日午前陸軍省に達した情報によれば、南京政府は陸軍大學校を閉鎖して學生はそれぞれ原隊に復歸を命ぜられ逐次戰時體制を整備しつゝある模樣である

上海各大學生
抗日の氣勢を擧ぐ

【上海十六日發國通】上海各大學生は學生抗日軍を組織して從軍する計畫を樹てゝゐるが、各大學内の學生救國聯合會代表三十五名は北支の事態擴大に對し、學生の戰線參加を協議の結果、軍事訓練を完了した全國八萬餘の學生を學生抗日軍に編入し、一部分は中國青年抗日團を組織同志學生以外の青年を收容、主として後方勤務につかしめ、義捐金募集、前線慰問等を行はしめ彌々相俟つて抗日氣勢を擧げることゝなつた

橋本參謀長
三條項の履行嚴重要求

【天津十六日發國通】わが軍は事態の不擴大主義を堅持しあくまで隱忍自重しつゝあるにかゝはらず、支那側協定調印後といへども數日にわたつて不法行爲を繰返すに至つたので橋本駐屯軍參謀長は、十五日夜張自忠氏を官邸に招致し、さきにわが方より要求したる
一、蘆溝橋附近より支那軍の撤退
二、謝罪および責任者の處罰
三、防共および排日の取締り
の三條項に對し誠意をもつて約束を履行せよと嚴重要求した

奥地邦人
一兩日中に引揚

【北平十六日發國通】わが北平大使館當局は張家口方面に居住する邦人約五百名の引揚げのため平綏線當局に對し目下引揚げ列車の差し立て方を交渉中で、一兩日中には全部平津兩市に引揚げを終る見込である、山西省太原の邦人は既に十六日朝全部引揚げたのでこれをもつて北平より奥地の邦人は軍關係者の他一部を殘したゞけで全部引揚げ完了の運びとなつた

二十九軍兵士
邦人商人に暴行
不法頻發に在邦憤激

【北平十六日發國通】十五日戒嚴時間外の午前十時哈達門前大使館區域出入の邦人商人小芝正夫氏が商用の爲大使館區域に入らんとした際突然同城門の下に出張つてゐた廿九軍兵士二名が同君に近づき 一日數回に亘り同所に出入するは如何なる理由かと密偵の嫌疑をかけ、同君が商用のためだといふを聞かず やにはに城門下に連行し青龍刀の背をもつて同君を數回毆打した、二十九軍兵士の邦人に對する不法行爲の續出は當局より嚴重禁ずる旨日本側に通告しあるにも拘らず、今尚何等改善さるゝところなく然も白晝斯くの如き暴擧をなす以上最早この儘には放置し難しとわが當局始め居留邦人は極度に憤慨してゐる

我軍戰死傷者
十二日現在計五七名

【東京國通】十六日午後四時陸軍省發表＝七月十二日までにおける北支事態のわが戰死傷者は左の如し

	將校	准尉、下士官	兵	計
▲戰死	なし	五	一二	一七
▲戰傷	七	五	二八	四〇

即ち戰死傷者を合すれば將校において七名、准尉、下士官十名、兵四十名、總計五十七名となつてゐる

十六日定例閣議

【東京國通】十六日の定例閣議は午前十時半開會、近衞首相病氣のため缺席したほか各閣僚全部出席、まづ猪野企畫廳次長より、企畫廳に對し近衞首相から技術者および熟練工養成方策に關し起草命令があつたので企畫廳で作成した具體案の大綱を説明、これを決定 ついで杉山陸相、廣田外相より夫々北支事變その後の經過について説明があり正午散會した、閣議散會後廣田外相、杉山陸相、米内海相、馬場内相等居殘り、北支事變に關し重要協議を遂げた

張總理、星野長官弔電

張國務總理、星野總務長官は十六日田代前支那駐屯軍司令官逝去の報に接し午後七時半左の如き弔電を發した

田代中將御逝去の趣哀悼痛惜の至りに堪えず、遙かに謹しみて弔意を表す
滿洲國々務總理大臣 張景惠

田代中將御逝去の趣邦家のため誠に痛惜の至りに堪えず、謹しみて御冥福を御祈り申し上ぐ
滿洲國總務長官 星野直樹

橋本參議着奉

【奉天國通】新任滿洲國參議橋本虎之助氏は十六日午後五時二十分安奉線經由赴任の途來奉、葆省長、竹内省次長、金奉天市長等多數官民出迎裡に直ちに瀋陽館に入つたが十七日午前在奉各機關を歷訪新任の挨拶をなし午後あじあで新京へ赴任の豫定である

田代前軍司令官

【天津十六日發國通至急報】支那駐屯軍司令部十六日午後五時廿分發表＝前支那駐屯軍司令官陸軍中將田代[illegible]一郎氏は病氣危篤のところ本十六日午前十時五十分司令部官邸にて逝去せらる

寺田中佐逝去

關東軍附治安部顧問興安北省警備軍主任陸軍砲兵中佐寺田利光氏は十六日午前零時二十五分海拉爾で逝去した、享年四十九、十八日午後三時より告別式を執行、茶毘に附した上東京府下北多摩郡武藏町吉祥寺の郷里に悲しい凱旋をする筈、故寺田中佐は去る昭和八年八月軍政部顧問に就任以來蒙古人から慈父の如く慕はれてゐた人格高潔の士で、露蒙、支三ヶ國語に精通、殊に蒙古通として陸軍では屈指の人であり今回の訃は各方面から惜まれてゐる

人事往來

▲小倉克己氏（會社員）十六日來京中央ホテル
▲大橋正次氏（土地建物會社）同
▲小野盛道氏（會社員）同
▲阿部健一氏（官吏）同
▲番場通峰氏（出版業）同 都ホテル
▲酒井伊三郎氏（會社員）同 向陽ホテル
▲工藤喬之氏（教師）同
▲遠藤榮一氏（南昌工業）同
▲川又甚一郎氏（吉林高等檢察廳次長）同
▲本波松友氏（土地會社）同

國都の暑氣は猛暑を通り越して十數年來このかた見ない殺人的の酷暑である▼無風地帶を油照りにじり〱燒きつける大陸性の暑氣に木も草も馬も人間も正に釜中の苦しみを嘗めてゐる▼時宛かも北支の風雲急迫を告げ十三日から開始した防空準備演習は實戰其のものゝ緊張と衝天の意氣を示してゐる▼防護團員の一人〱は晝間終日家業にいそしみ一風呂流す遑もあらばこそ各の持ち場に馳けつけ徹宵の勤務であが▼不平の聲一つ洩らす者すらなきことは日本人ならでは見られぬ美しき愛國心の發露でなくて何であらう▼大陸の夏の夜は明けるに早い東天ほのぼのと白む頃ほひまで持ち場を守る團員の口をついて出る▼〃百卅度の酷暑と闘ふ北支の皇軍に較べれば俺達のこの位のことは問題でない〃▼この言葉を聞いて感謝の念を催さぬ市民があるであらうか▼それにも拘らず統監部の發表に據れば其の結果に於て團員の斯くの如き決死的努力と市民の協力を根底から覆すが如き不心得者があるといふが▼さういふ者は一朝有事の際國を賣つても金を儲けやうといふ輩であらう

社説 現下時局と擧國一致

一

今次事變の勃發以來、日本國民の擧國一致は殆んど理想にちかい程度に於いて實現されてゐるやうである。國家の非常時に臨んで、官民朝野全國民の一致が實現され來つたのはわが國の既往の歴史にも極めて顯著なわが國民性の美點の發揮であり、今次事變に際してもその發現を毫も疑ふところなかつた。果して翕然として國防、恤兵の獻金運動は全國的に捲き起され、現地に向つては熱烈な激勵電報や書信がおくられてゐる。而して政治的諸黨派、經濟關係の諸團體等も一糸紊れざる方向に於いて政府當局を支援する態度を表明してゐる。これには事端の急迫以來、政府當局に於いて現下北支情勢の實狀これに對する日本としての決定的な態度等について、或ひは講演により、或ひは懇談會等を頻繁に開催して積極的に闡明に努めて來たことも大いに效果ある事であつたと認められるのである。

二

愛國奉公の道は決して單一なものではない。いくさの庭に立つ者も然らざる者も、その國に盡す赤誠に於いて同一であるべきである。しかしながら、この炎熱の時に諸事不自由なる北支那の原野に馳驅して生命を銃火のながに捧げてたたかつてゐる戰士たちに對して、銃後にあるわれわれが應分の支援の實を致すことは誠に美しい心事の發現であり、大いに賞揚さるべきところである。聞くところによれば、支那に於いてもやはり獻金といふ如き事が行はれてゐるが、實はその大部分は職業的な運動屋たちの行爲であつて、集め來つた—と言ふよりも寧ろ掠め取り來つた金錢の一部はこれら時局商人たち自身の酒色の費に供されてゐるといふ。斯くの如き事情と、日本に於けるそれとは全く比較にもならぬ。眞の擧國一致と、裝へる或ひは裝はされた擧國抗外態度との對比また見るべきである。

三

この時に於いて、われわれは特に經濟界に於いて時局にもとづく變動を利用して不當の利を貪らうとする者無きかに對して大いに注意すべきであらう。この地方に於ける防空演習の實施に際してすら、一部には特殊商品價格の不當な吊り上げがあつた等との噂を聞いたのは甚だ遺憾である。更に大規模に、よしんば合法性のうちに隱るゝとはいへ一般社會認識が認める公正の程度を超えてかかる惡德を行はうとする者無きやう戒むべきである。次に、現下の擧國一致のもとに於いても國民の適切なる論議はこれを盡さしむべし。箝口は非である。國民意志の正常な展開は決して抑止されてはならぬ。眞の一致は國民個々のかゝる協力によつて成るのである。

事變對案を決する 滿鐵重役會開く
全力を擧げて協力方針協議

現下非常時局に處する滿鐵の重要根本方針を確立すべき重役會は松岡總裁の歸奉を待つて、十六日午後三時より滯奉中の大村副總裁以下宇佐美、郡山、中西、武部、阪谷、佐々木、佐藤の各理事、佐藤本社、入見總局各文書課長、宮本東亞課長その他滿鐵首腦部參集の下に、鐵道總局第一會議室で開催されるがすでに先着の郡山、中西兩理事、佐藤文書、宮本東亞兩課長等は今朝來大村副總裁、宇佐美、佐藤兩理事等との間に熟議をこらしつゝあり總局内は極度に緊張ぶりを示してゐる、なほ松岡總裁は午後二時臨時飛行機で京城より着奉、又武部、阪谷、佐々木三理事は同二時四十三分着あじあで乘込むことゝなつてゐる

松岡總裁歸來談

京城に於て朝鮮總督府側と種々重要會見を遂げた松岡滿鐵總裁は臨時旅客機に便乘し十六日午後零時五十分先着の中西理事等の出迎を受けて奉天北飛行場に到着、直ちに午後三時より鐵道總局で開催される滿鐵重役會議に臨んだが、飛行場に於て左の如く語つた

今次の北支事變については今後如何に進展して行くかは目下のところ豫測はつかないが、わが政府はすでに一貫した確固たる方針の下に邁進する決意を固めてゐるのであるからたゞ擴大不擴大は一に支那側今後の態度如何によるわけだ、滿鐵としてはわが政府の方針と歩調を合せて全力をあげてこれに協力して行きたいと思つてゐる

事變不擴大に關する 英通告說を否定
外務當局から公式に

【東京國通】英國政府は米佛兩國政府とそれぞれ單獨にわが國に對し北支事變に對する見解と希望を表明するに決し英國はすでに外交機關を通じ事態不擴大に關する通告を提示したと傳へられるが、外務當局は「十六日正午までには未だかゝる事實なし」と公式に否定してゐる、すなはち英國は去る十二日イーデン外相と吉田大使會見の際事變不擴大を希望する旨口頭をもつて述べたが、右はロンドン電報に傳へられる如き意味合のものではない、なほ米國政府およびフランス政府からはまだ何等の通告もない、これに加ふるにわが方としては事件不擴大の現地解決の方針を堅持し支那側の約諾履行を監視しつゝあり、支那側がわが約諾を履行すれば事態は擴大の惧れなきもので、この現狀に對しては英、米、佛とも充分諒解してゐる筈であるとしてゐる

なほ南京における駐支英國大使ヒューゲッセン氏の行動については外務當局も極めて注目してゐるが、同大使と王外交部長との會見に關する情報等よりみて

英國側は差し當り支那側に對し注意的警告の態度に出でしかる後わが國に對しても何らかの申入れをしてくるのではないかとみてゐる

英國政府は 當分靜觀の模樣

【ロンドン十五日發國通】英國政府は北支事變の平和的解決を希望する建前から既に外交機關を通じ日本政府に對し紛爭に對する見解と希望を表明したといはれる、當初國民政府は英、米、佛三國政府が共同動作をとるやう期待し、英國政府も右國民政府の示唆に基きフランス政府と協議の上共同動作を意圖した模樣であるが、この案は米國政府の容れるところとならず、また佛國政府も極めて消極的なので結局各自單獨行動に出ることゝなつたといはれる、英國政府の通告内容と解されるところつぎの通り

日支兩軍の衝突は當初極めて小規模のもので紛爭は擴大さるべき性質のものでないと思惟されるが、萬一事變擴大せば英國政府の重要關心とならう

一方米國政府も殆ど同趣旨の意見を日本政府に表明したと解されるが、フランス政府も以上英米兩國政府に追隨するに決したといはれる、英國政府としては日本政府の事態不擴大に關する聲明に信頼し差し當り調停を提言する意向はない模樣である

ク外務次官 撤兵論を反駁

【ロンドン十五日發國通】英國下院十五日午後の外交討議(註極東情勢に集中し種々質問出で、あたかも英國政府が主要各國政府を誘ひ北支事變の收拾につき調停方を考慮中との報道とならんで政界、外交界の注視を惹いた、就中保守黨議員ラッダ氏は「北平に於ける外國軍隊の駐屯が紛糾の原因なり」とし「一九〇一年北清事變に關する最終議定書第九條を廢棄しては如何」との質問に對しクランボーン外務次官は同氏の主張を反駁しつぎの通り答へた

議定書第九條の目的は各國公館の安全を確保するためで、北平の通商を考慮したゝめではない、各國公館中には依然北支に存置してあるものあり、これを保護することは必要である

ロンドンデリー紙特派員語る

【門司國通】先月末以來北支を視察中今次事變に遭遇したロンドン・デリー紙東京特派員R・V・レッドマン氏は嵩山丸で十六日午前門司に入港したが、氏は語る

八日事件のあつたことを知つたので早速各方面にわたつて詳細調べて來た、今回の事變の責任は全く支那側にあることは在北平の各國人が齊しく認識してゐる、十一日午後動亂最中の北平を出發したが、自分の出發當時は日本の出先當局の不擴大方針によりこれ以上事態が進展することはないだらうとの印象を受けて來た支那兵の排日は相當熾烈であるから今後どう發展するか自分には豫想し得ない

非常時空軍に 九四式偵察機登場
—複座戰鬪機の精悍な隼—

【東京國通】無敵空軍建設を目指して不斷の精進を續けてゐる陸軍に、また新たなる隼の翼が加はつた、その名は「九四式偵察機」輕快な複葉機である、全幅十二米高さ三米、長さ八米、全備重量二千六百キログラム、すつきりとした流線の胴體、空冷式五百五十馬力の發動機を裝備して水平時速三百キロ、三千米まで上昇する所要時間九分、上昇限度は遠く成層圏に至る八千米といふ驚異的優秀な性能を備へ、トンボの羽に髣髴した翼を飜した航空に自在なアクロバシーを演じる勇姿は偵察機といふより複座戰鬪機といふに相應しい精悍な隼である

支那の在銀 一億六千萬圓

【上海十六日發國通】爲替市場では政府系三銀行の賣支へがどの程度まで繼續し得るや頗る疑問としてゐるが、支那における在銀は左の如く一億六千八百萬元に過ぎない

地名	側	在銀
天津	支那側	三、九〇〇萬元
	日本側	四九〇萬元
北平	支那側	一、六〇〇萬元
	日本側	五〇萬元
濟南	支那側	二、七〇〇萬元
青島	支那側	二〇〇萬元
上海	支那側	一、三三〇萬元
廣東	支那側	二、四〇〇萬元
香港	支那側	四、一〇〇萬元

このほか支那側では八億元の爲替平衡資金を有せるごとく宣傳してゐるが、關税擔保の外債支拂金を含めて在外資金は三億五千萬元程度に過ぎない、しかも最近三日間の賣支へ額は既に千五百萬元に達しなほは買物殺到せる現狀で、もし北支の事態更に擴大險惡化して戰火を交へるが如き場合は支那は國の内外資金を總動員するもいつまで爲替統制點を保ち得るや目標を失へる管理通貨の前途は全く暗澹たるもので、支那は今や國家破産の危機に直面してゐるといはざるを得ない

世良參事 御前講演

滿洲産業の開發に至大の御關心をもたせられる滿洲國皇帝陛下には、今回滿鐵産業部次長參事世良正一氏を宮廷に召させられ、廿三日午前十時卅分より約一時間に亘つて「石炭液化について」と題する御前講演を御聽取あそばされることになつた、光榮の世良次長は近く赴京の豫定である

筧博士講演會

協和會首都本部では建國大學創立準備委員會に出席のため滯京中の法學博士筧克彦氏を聘し十八日午後四時より新協和會館で建國精神に關する講演會を開催する

抗日、侮日など
支那側にこの不信

今次北支事變の根本原因をなす南京政府の抗日侮日行爲、帝國の條約上既得權益否認等不法不信行爲は枚擧に遑がないが、最近二ケ月間における顯著なる事件のみを摘記するもなほ左の如く多數に上つてゐる

△四月六日
綏遠省主席兼綏遠剿匪總指揮傅作義入平す、爾後十八日まで滯在、軍、政、學各界と聯絡をとり盛に自己宣傳と南京政權擁護とを力説す

△同月十一日
天津學聯は全國に通電し左の三項を力説せり
(1)領事裁判權撤廢
(2)密輸品不買
(3)武裝緝私設立

一、天津辯護士會も亦領事裁判權撤廢促進に關する通電を發せり

一、前に冀察の南京化策動に來平せる居正は南下の途上青島に至り、新聞記者にインタービューして一支那は八月一日より治外法權撤廢を宣明し明年一月一日よりこれを實施す」と聲明せり

一、抗日救國運動作者として有名なる劉良模は上海の本據より大同、太原、汾陽、保定等を經て來平す、一般軍隊、民衆方面に喰込むものと見らる

一、冀察要人等は相談して舊抗日東北義勇軍たりし廢兵の六十五家族三百五十五名を得勝門救濟院に入れ、他日に備へんとす

一、二十九軍參謀處長少將[illegible]の談に據れば、二十九軍の三分の二は抗日意識に燃ゆ長城戰による傳統によるものと思はると

一、最近頻々として軍用電線切斷事件續發す

△同月二十日
察哈爾省より熱河省境寶寧縣千家店警察分駐所を襲ひたる武裝の一團あり

△同月二十一日
南京政府の華北工作案次の如くなるを知り得たり
(1)文化工作…華北に於る各大學校長を南京系人物に更迭すること、南京大學は孔祥熙を校長となすに決せり、他の私立大學に對しても工作中なり
(2)經濟工作…密輸取締を嚴にすること、所得稅を徴收すること等々によつて南京を念ふ空氣を民衆に植え付く
(3)交通工作…(イ)何競武を華北運輸司令とし平漢、津浦、北寧、隴海平包各路長を副司令とする軍組織化
(ロ)各路從業員に軍事訓練をなすに決し、五月一日より三ケ月宛南苑に於て實施することゝす
(ハ)津浦、隴海線各沿線の墓地並に主要地一帶に作戰工事を行ひ又地雷布設工事の準備をなす
(ニ)平漢路局長陳延炯は毎週月曜に同局職員に對し抗日講演をなす
(ホ)蔡梓英(共産黨員にして、後藍衣社に轉向)は舊藍衣社員多數を帶同し北平に乘込みたり

△廿四日
灤平縣黒汗嶺警察所を襲ひたる武裝の一團あり

△廿七日
張家口に於て支那兵は公大工廠より材木を强奪し去る

△五月一日
灤平縣庄戸警察所を襲ひたる武裝の一團は滿人警吏六名を殺し、日系官吏一名を人質として拉致し去る

△七日
張家口に於て日本人が理由なくして支那兵營に拉致され毆打さる

△八日
張家口に於て軍用自動車に投石せるものあり、窓、車體破損さる

一、宋哲元は天津の寓居より故山樂陵に行く、墳墓のため二十日の暇を取りたるものなるが、實は津知鐵道敷設問題の空氣より脫せんがためなり

△十二日
北平日本小學校兒童通學の途上支那人に暴行さる(十二日より十五日迄毎日此種事件あり)

△十七日
張家口の支那兵營歩哨は日本人自動車運轉手に暴行す

△十八日
一、南京政府は五十三軍を南京化すべく同軍參謀長趙國余を南京に招致す
一、陳覺生は監察院華北監察使周利生のため密輸品運送鐵盜實の廉をもつて告發さる
一、東北大學生三百四十七名は張學良の解放、南京政府の學校への補助金復活を要求して赴寧す
冀察は無料にて乘車せしめたり(江蘇省柳泉に列車が到着したる時、南京政府は教育部科長郭蓮峰を派遣し南下を拒み、東大は國立となし夏休後の西安移轉は決定のことなればとて、旅費一千元を給し引返せしめたり、學生は廿五日北平に歸來せり)

△二十日
中央は第二十九軍の河南移駐劉峙軍の北上を傳へ宋哲元への嫌らせをなし北支壓迫の積極化を企つ

△廿一日
一、宋哲元は外國人に土地を賣拜したるものは官民を問はず一律に死刑に處すとの布告を出す
一、張家口において日本人自動車運轉手支那人に毆らる
一、東北大學父兄等は學生後援會を組織し赴寧せんとせしも冀察當局は無賃乘車を許可せざりしため中止

△廿四日
内政部長蔣作賓來平す、灤州起義烈士祭禮ならびに總理衣冠塚參詣のためといふも、南京化策動のためなること顯著なり

△廿七日
日支青年共同耕作の聖農園に手を延ばし、同耕地居住の支那人地主古恩富を逮捕投獄す

△廿九日
一、宋哲元は側近者に對し政務委員長の職を辭したき旨漏せり
一、馮玉祥濟南に入る、韓復榘と會見す

△三十日
一、一日を期し察北一帶において内蒙察北の自衞と稱し民衆の一齊蜂起を計畫せるが事前發覺し内蒙當局のため一齊大檢擧さる
一、蔣作賓北支綏遠を巡視し各地において中央化完成のため努力すべく鼓舞激勵をなす

△六月一日
午後南京政府は東京—天津間連絡飛行に對し停止命令を發す
一、夜聖農園襲撃放火され、邦人一名負傷、尙日章旗凌辱さる

△四日
北支の密輸取締を理由として天津海關長は財政部に對し天津附近に稅警團派遣方を電請せるもの如し

△六日
青島市長沈鴻烈は六日の日附をもつて左の佈告を出す
一、地方辨事處又は市政府の許可なくして外人に土地を讓渡すべからず
一、外國品(日本品を指す)の使用を禁ず

△八日
大東公司青島事務所その他市中の支那宿に分宿してゐた渡滿苦力頭、宿主等を警察職員が引致、脅迫しかつ群衆を煽動して苦力宿舍に投石せしめ苦力の渡滿を阻止妨害す

△九日
青島北方七〇キロの即墨縣湯上村に新設近く開業の運びとなつてゐた日支共同出資の湯上温泉支那側代表張百川氏は九日青島市政府に召喚され日本側の出資を拒否せよしからざれば一切の財産を沒收すると威嚇され又昨年五月南京政府から正式許可を受け萬般の設備を了し七月から採鑛精錬に着手する事になつてゐた資本金二百萬圓の日支合併招遠玲瓏金鑛株式會社に對し許可の書類に不審ありとし青島地方法院をして突如許可取消を通告せしむ

△廿一日
大連より冀東に向ふ東平號支那稅關監視船に捕獲され砂糖、雜貨、醬油その他約七萬圓の貨物沒收さる

△七月八日
北平市長秦德純、市東側城門朝陽門を固く鎖しわが部隊の通行を不法阻止す

△十一日
北平日本人旅館に約五十名の武裝支那兵闖入暴行、負傷者三名を出す、邦人民留民の身邊漸次危險化す

滿鐵、滿洲國の出資で 通化製鐵所設立決定
東邊道の資源開發進む

滿鐵の東邊道鑛山資源調査着々と進み、すでに大栗子溝において二千八百萬噸、七道溝において三百萬噸の埋藏量を有する良質鐵鑛が發見され、通化附近の豐富なる石炭と相俟つて一大製鐵所の設立可能の見込が立つたので滿鐵ではいよいよ通化製鐵所の實現を急ぐことに決定具體案を練つてゐる、最初は約四千萬圓の資本を投じ年産三十萬噸を目標とする模樣であるが、この資本系統等については滿洲國滿鐵等の出資となる模樣である

協和會本部 廿一日新館に

大同大街に新築中の協和會館はこの程竣工したので、協和會中央本部は廿一日移轉する筈

建國大學創設準備委員會第二日

建國大學創設準備委員會第二日目は十六日午前九時より日滿軍人會館において日滿全委員出席の下に開催、午前中は
一、學生募集要領
二、創設準備進捗豫定表
について討議し、午後は一時より引續き會議を開き
一、教授要目案
を討議する

交通部打合せ會

交通部では機構改革後に於ける最初の地方主要官署主務者會議を航政局長、土木處長、郵政管理局長を招集して十九日より三日間に亘り打合せ會議を開催することになつた

商況欄 (七月十六日)後場

株式相場

●大連株式(短期)

品名	寄	引
五品新	一五、九〇	—
豆新	一九、〇〇	—
東新	一四一、五〇	—
滿鐵新	五五、七〇	—
同新	三一、七〇	—
日産新	七六、五〇	—
鐘新	二六六、五〇	—

●奉天株式(短期)

品名	寄	引
滿取	一二、三〇	—
東新	一四一、七〇	一四一、五〇
日産新	七六、五〇	七六、四〇
鐘新	二六八、一〇	二六七、〇〇
五品新	一五、七〇	—
豆新	一九、〇〇	—
滿鐵新	—	—
同新	四四、〇〇	—
電甲	—	—
滿毛	—	—
日晉	八八、三〇	—

手形交換高(十六日)

[illegible]

鮮魚小賣相場(七月十六日)

品名	最高	最低
氷鯛	一〇五	七八
中小鯛	…	…
カスゴ	七八	五二
チヌ鯛	…	…
チ鯛	五五	五二
アマ鯛	五三	五二
イセエビ	一三五	四六
エビ	八五	…
車エビ	…	…
ブリ	二九	七二
ヒラス	五〇	…
マナ	三三	二七
マス	五〇	…
サワラ	…	…
スズキ	二八	一七
ニベ	二五	一五
アジ	…	…
サバ	二四	二三
赤ムツ	…	…
アコウ	七二	…
メバル	…	…
アブラメ	…	…
鯧	…	…
タコ	四五	…
水蛸	…	…
飯蛸	…	…
紋甲イカ	…	…
甲イカ	五五	…
小イカ	二七	二二
ヒラメ	…	…
カレイ	…	…
星カレイ	…	…
日高カレイ	…	…
連長	…	…
カナガシラ	…	…
コノシロ	…	…
コチ	…	…
オコゼ	…	…
キス	五五	四六
サヨリ	…	…
アナゴ	二八	二四
帆立貝身	…	…
赤貝	一五	一〇
蜆貝	一〇	八
ムキミ貝	…	…
鮎	…	…
カニ	二五	…
(切り身相場)		
梶木	一〇〇	五〇
ブリ	五〇	四〇
ヒラス	…	…
サワラ	…	…
エベ	四七	三〇
ヒラメ	…	…

天氣

けふの天氣 南の風晴後曇り
日の出 五時一〇分
日の入 八時一八分
月の出 後三時三分
月の入 前〇時八分
きのふ 最高 三五度三
氣溫 最低 二〇度三

濱江省各縣下に糧穀市場を設立
但し哈爾濱市は例外

【哈爾濱國通】濱江省ではかねて省下各縣に糧穀市場を設立すべくこれが具體案につき檢討を重ねてゐたが、この程成案を得たので近く決定の上省令をもつて各縣にその設立方を通達することになつた

しかしてこれに伴ひ哈爾濱市にも同令に基き同樣糧穀市場の設立による農產物統制が行はれるのではないかと關係業者よりその成行を重視せられてゐたが、省、市兩當局の間に談合の結果哈爾濱は各縣の如き地方市場と異り大手筋の活躍する世界的特產市場であり、一方取締技術上からも松花江による黑河、三江、牡丹江等他省からの穀物流入の途があるほか農民と市內に散在せる加工々場との直接的取引きも行はれその他種々の事情よりこれが統制は困難な現實にあるので哈爾濱隣接の各縣において各自哈爾濱へ出廻る穀物につき適宜統制を行ふにあり、哈爾濱市には前記省令による糧穀市場は設立せざることに意見の一致を見た

季節の寵兒 "ピンゴ"睨まる
大經路署で不良販賣者を摘發

眞夏に入るとともに大衆的な淸涼食べ物として最近街のピンゴ（アイスケーキ）賣りが著しく增加し灼熱の街頭に小箱をかゝへて「ピンゴ〳〵」と客を呼んでゐる、これ等ピンゴ賣子はほとんど當局の許可を受けず、服裝は勿論品物自身にも非衞生極まるものが賣られてゐる現狀に鑑み大經路警察署では一般市民の保健衞生上昨十五日これら不良ピンゴ賣り子の一齊取締りを實施した結果少年賣り子の二十六名を筆頭に無許可販賣者四十四名を本署に引致嚴重說諭を加へるとともに一部の者に對しては科料または拘留處分に附したが、今後も徹底的に取締ることゝなつた

新京混聲合唱團 慰問演奏

さきに新京在住のテノール細田透氏、バス大江千鄉氏、ソプラノ淸水英子夫人、アルト山田治子夫人等による新京ヴオーカルフオワア並びに新京混聲合唱團が生れたことは既報したが今回宮澤民生部次長、皆川教育司長、關屋新京特別市副市長、吉田協和會首都本部事務所長等が同合唱團の顧問となり援助することゝなつた、同合唱團は今秋十月初旬第一回發表演奏會を開くがそれに先立ち七月十八日新京陸軍病院に最初の慰問演奏を行ひ同二十七日には新京放送局から全滿中繼放送を行ふことゝなつてゐる

濱江省で半島人歸農に力注ぐ

【哈爾濱國通】濱江省では豫て管下居住の半島人中モルヒネ麻藥の秘密取引その他不正職業に從事するものにつきこれが徹底的善導に乘出すべく調査中であつたが、この程大證六百乃至一千戶の見透しがついたので近く取締りを開始するとゝもに今後の更生策として大部分は土地を與へて歸農せしめることゝし、十五日午前九時より省公署會議室に關係者出席、これが入植地選定、補助金の支出その他具體的方針につき種々協議を遂げた、なほ近日中に省公署より現地に係員を派遣さらに實態につき細目調査の筈である

白井烟巖畫伯 あすから個展

過日新京にて開催された宣詔紀念美術展覽會審查員松林桂月畫伯に隨行來滿、以來月餘に亘つて、滿洲風景研究に沈思構想製作中であつた白井烟巖畫伯の個展を明十七日より三日間、三中井五階ギヤラリーにて開催することになつた

因に同畫伯は松林桂月畫伯の高弟にて夙に南畫に新生面を開拓し官展に入選すること七回將來を囑望されてゐる新進作家である（寫眞は同氏作品の一部）

讀者の領分
プール

暑いからプールに行く。」風呂場のラツシユアワーのやうだ。それでも子供たちが歸つてしまふと樂におよげるやうになる。此の頃はクロールの一點ばりだ。昔流の泳ぎ方でもしてみよ皆プールからはい上つてその古典味を、鑑賞するやうな時代だ。ばた足ばた手のクロールが水泳日本を築き上げたのだから、馬鹿にはならない。所が此のクロールはそう簡單なものではない。頭を曲げ呼吸するプツシングのたびに水をのみ、ビートをとめるやうな奴らのクロールは見てはおれない。こんなのをみせつけたら今度やつてくる日本の選手も涙をながしますよ、クロールばかりではないブレストでも背泳でもそうだ水につかつてゐるばかりが能ぢやないすこし水泳の本でもみろてなわけで、圖書館に行つてみた、まあ讀める本がある。高石勝男木村象雷共著の「水泳日本」はおもしろい泳ぎ方の一つも習ふといふ意味でなくこれこそ疊の上で裸でねころんでよむにもつてこいだ。それこそ疊の上の水練で、立派な銷夏法だね。一々註釋を加へるのもめんどうだ、夏らしくない。書名をならべてみよう。

水泳の新研究（京田武男）
水泳指針（文部省）
水泳十講（池田尚康）
水泳競技（杉本傳）
水泳（佐藤三郎）
水泳（齊藤巍洋）
新式水泳術（齊藤六衞）
最新水泳術（岸田敏）
最近の水泳術（京田武男）
競泳（和久山修二）
競泳法（帝大水泳部）
水上競技規程（水上競技聯盟）

噴火山上に躍るソ聯
勤勞大衆依然動搖
隨所に反政府行動を惹起

ソ聯當局は蜂の巢をつゝいた樣な國內民衆の不安動搖をひたかくしにかくし專ら國民の關心を國外に轉ぜしめんと努力し、極東ソ聯ウラヂオ放送局の如きも六月下旬以來一切國內の紛糾について語ることを避けてゐたが、最近またまた次の樣な混亂せる國內事情を自ら放送するの已むなきに至つてゐる、すなはち

極東地方重工業地帶における勤勞大衆の動搖は依然甚しく反政府行動は隨所に惹起されてゐるが當局の彈壓は峻嚴を極めてゐるためドンバス炭礦の如き多數の勞働者が缺勤しサボタージユ狀態にある

またソ聯インテリ層の反政府意識を明示するものとして注目すべきは

レニングラード大學最近卒業者百八十名中實に八十パーセントまでは悉く反現政權分子または帝政復歸派である

以上の如き事實をソ聯當局自ら公表するの已むなきに至つてゐることはソ聯國內が依然噴火山上に躍るの實情を反映するものとして極めて注目される

人心の離反防止に
ソ聯當局躍起

ソ聯政府はトハチエフスキー元帥以下八將軍處刑後の赤軍內部における紛爭とこれに伴ふ未曾有の士氣沈滯を粉飾すると同時に赤軍に對するソ聯國軍の信望を何等かの方法によつて繫ぐべく腐心してをりソ聯各紙は連日國民資金の總動員による國防公債の應募を要請し或は赤軍指揮官五名の勳功を賞揚して「赤軍の英雄」なる稱號を與へる等大々的報道してゐるがソ聯の全勤勞大衆はこれに對し熱狂の極にあると傳へるに至つては餘りにも實情に遠く識者を失笑せしめてゐる

乾岔子島事件 果して密通

過般のソ聯乾岔子島不法占領に對しては左の如き周到なる通ソ情報提供者のあることが判明した、即ち當地某機關着情報に依れば

ボリシヨリ島對岸オルゴルカ駐屯のソ聯國境警備兵の一部は便衣を纒ひ妻子を帶同、モーターボートに乘つてピクニツクを裝ひ同島に到り遂次同島在住の滿人に接近して數回に亙り金品を與へ、今年解氷直後には完全に之を通ソ連絡者とするに成功し、本年五月頃には同島の日滿軍警の駐在せざるを知つて今次の不法侵略の擧に出たものである

新京庭球界の慧星
平野政雄君への期待

世界の檜舞臺に活躍した內地庭球界の雄、元名鐵の花形選手が新たに機會を得て近く國都庭球界を擔つて躍り出ることゝなりフアンを喜ばせしめてゐる話題の名星は名鐵の名前衞として全日本選手權大會明治神宮大會に妙技を振ひフアンを齊しく感嘆させた平野政雄君で、昭和五年濱松商業時代既に非凡の譽れ高く卒業後望まれて名鐵に入り、愛知縣代表として全日本大會に三回明治神宮に五回其他東海大會を始め丸菱の大會等に今度全日本庭球代表として來滿する安井君と組んで勇名を轟かした選手で將來を大いに期待されて居たが滿洲國軍人として活躍の希望鬱勃として止み難く遂に意を決して本年一月球友村瀨、山名、森、安藤、安井の諸名手と別れて來滿し六月軍需學校候補者として來京したもので本年二十七と云ふ脂の乘りスポーツで鍛えた五尺七寸の天晴れな體驅その前途は期して待つべきものがある、新京庭球界としても目前にオール日本軍を迎へる日を控えてこの彗星の出現は如何に心强いか同君の新京庭球界への貢獻は多分に期待を持たれてゐる【寫眞は東海大會に優勝した時の平野君】

國定教科書の編纂進捗
重要科目の有機的綜合に新機軸

明年一月の學制實施を控へて民生部教育司では目下鋭意國民學校および國民優級學校で採用する國定教科書の編纂を急いでゐるが、採用教科書は科目四十六種六十二卷に達する見込でこれ等の諸科目中編纂官が最も苦心してゐるものは國民讀本である、即ち國民讀本編纂上の特異點とするところは現行科目の修身、國文日本史、東洋史、國史、地理等を有機的に綜合編輯して諸外國の國民讀本にみられない內容を盛り、また資料蒐集にあたつては回鑾訓民詔書の御趣旨に立脚し、智、情、意の三方面を共に生かすべき資料を挿入せんとしてゐる點で、この外實學教育尊重の見地から「勤勞愛好」の教科書も採用をみることになつてをり、今日この頃の酷暑にもめげず七名の編纂官は國定教科書編纂に新機軸を出さうと大いに張り切つてゐる

慶應野球軍けふ來京
國都軍と對戰

東都球界の雄慶應大學野球部選手楠本主將以下二十二名は森田監督、高濱、宮原兩マネジヤーに引率され十四日朝うすりい丸で大連に入港直ちに哈市に赴き滿洲遠征の火蓋をきり十七日午後二時十分着〃あじあ〃で來京同午後四時半から西公園球場で電業軍を皮切りに十八日新京俱樂部、二十日滿洲國、二十一日電々と試合して二十二日四平街に向け出發する豫定である、なほ新京に於ける試合の入場料は一般七十錢である

(け)(ふ)(の)(野)(球)
慶應對電業
西公園球場（午後四時半より）
入場料七十錢

交驩水泳大會いよ〳〵廿日
入場料は大人四十錢小人廿錢

滿鐵運動會新京支部主催日大對全新京交驩水泳大會は二十日午後四時から白菊町白菊プールで開催することに決定した、水上日本のナンバーワン遊佐、葉室兩選手を始め日大の精鋭は十九日午後六時二十分着あじあで來京滿鐵社員宿泊所に一泊二十日午前十時から十一時半まで市內の見學をなし午後四時白菊プールで入場式四時四十分から競技を開始するが種目は

▲三百米メドレーリレー（谷口、葉室、佐々木、杉本）▲四百米自由型（佐々木猛、木村成男）▲二百米平泳（葉室鐵夫）▲百米自由型（遊佐正憲、正木敬造）▲百米背泳（桑野正實、谷口利弘）▲二百米リレー（遊佐、正木、杉本、佐々木）

で六時二十分閉會六時三十分から歡迎會を開催の豫定である、なほ當日の入場料は大人四十錢、小人廿錢、プール會員は大人三十錢、小人十錢である

猛練習續々
滿洲帝國武道會夏稽古

滿洲帝國武道會では兼ての豫定通り十三日から全〃の道場を總動員して劍柔道一齊に暑中稽古を開始した、時正に非常時日支の風雲急を告げ選士は一入緊張し各道場とも人員過剩の有樣でヤー、トーの掛聲ももの凄く流汗淋漓全く三伏の酷暑を克服し大和魂躍如として劍尖火を吐き肉彈相搏つ猛練習が行はれて居る、殊に中銀道場では劍聖高野範士波多江敎士を迎へ士氣いやが上に昂り四段五段練士の猛者續々集つての壯烈な稽古は新京空前の盛觀である【寫眞は熱心に敎授する高野範士、波多江敎士】

新京籃球選手權大會組合決定

來る十八日午前九時南嶺國立運動場に於て大滿洲帝國籃球協會主催の下に開催する新京選手權並に全國體育大會出場選手決定の籃球大會開催に關し十四日午後三時半より協和會首都本部會議室に於て籃球協會理事出席の下に參加チーム代表者會議を開き左記の通り組合決定した、尙全國體育大會出場の新京代表選手は當日選手權を獲得せるチームを主體とし協會理事會に於て決定することになつた

組合
男子
寬中對電々
中銀對郵政
慧星對京文
長中對追

女子はリーグ戰
中銀
萃文
女中

國務院運動場開場祝賀競技

國務院ではかねて廳舍前に建設中であつた運動場が竣工したので十五日午後四時半から運動場淸祓を行ひ、十六日開場祝賀競技會を開催する

元民政部協和會分會防空獻金

元民政部協和會分會では今次の機構改正に伴ひ生じたる會費の殘額百五十圓の處分につき硏究中であつたが結局時下の重大性に鑑み防空獻金をなすことに申合せ十五日內務局事務官岩田常雄氏が代表して協會本部を訪ひ獻金の手續をとつた

家庭

汗と埃で汚れます 背廣は毎日手入れを 膝の伸びたのは見苦しい

夏の背廣服 は汗と埃りで非常に汚れが早いものですが、着物と異つて度々洗濯するわけにも行きませんので、自然日常の手入れが大切であります。麻のやうな種類が多いので伸びたり、縮んだり、皺が出來たりして困ります。殊に背に汗がにじみ出てそこだけ色が變つたり、膝が圓く伸びたのは見苦しいものです。その手入の方法をお知らせ致しませう。

(イ)毎日汗で下着がぐしよぐしよになりますから、下着はなるべく毎日替えます。若し汗が背廣ににじんだら、歸るとすぐアンモニアを水で割り霧吹きかけて、よく浸込んだ頃を見はからつて、タオルを清水で絞りその部分を何度も絞り替え乍ら拭きます。

(ロ)家に歸つて脱いだらポケットのものは總て出してしまふことです。ポケットに重いものを入れた儘にして置くと

服が全體に 引つつて形が崩れ易いからです。次に風通しのよい椽側あたりに吊して濕氣を拔き乾かします。

(ハ)汚れが目について來たら椽側に吊して細い竹のやうなもので埃りを叩き出し、柔かいブラシで除き、下に敷布や毛布を敷いて揮發油かベンヂンを眞綿に浸して輕く押しつけます。襟の部分のやうに始終首に擦れたり汗がついたりする箇所は、黄色く變色し勝ちですから、揮發油で強く擦らずにアンモニアを薄めて拭いた方がよろしい。

(ニ)次に又風にあてゝ揮發油の臭氣を去らせます。夏服の形の最も崩れるのは膝と肘ですから、そこに時々アイロンを當てます。布を當てずにぎゆう〳〵押し乍らアイロンをかけたりすると、忽ち袋のやうに愈よ伸びてしまひます。必ず縮むやうに皺にして置いて上から

アイロンを 壓して蒸らした方がよろしい。肘の伸びも同樣です。

(ホ)ズボン裾の折返しは時々展げて見て埃りを拂ひ泥はね等は見付け次第拭き除ります。

料理立獻

茄子のおとし燒き

お茄子はいろいろにして召上れますが、かういふ風に致しますのも一寸變つてよろしうございます。

【材料】(五人前)
茄子　大形五個
小麥粉　大匙二杯
バタ　少々
玉子　一個
鹽　小匙二杯
ベイキング・パウダー　小匙一杯

お茄子の皮をむいて水につけそぎ切りゆでゝしぼり玉子、小麥粉、バタ、鹽、ベイキング・パウダーを加へフライパンに油をひいて落し燒とり醤油かソースを添へてすすめます。

妊娠中の攝生 ⑤

自信と歡喜をもつて 立派な子を生め

産婆 山口孝子さん談

妊娠中よく齒痛に惱まされるものであります。之は胎兒の發育の爲めに母體の齒や骨から石灰分を奪ひつゝある爲めであります。妊娠中でも齒の手當は安全に出來ます。妊娠中はつとめて石灰分の多いものを攝取するとともに、齒に異常がありましたら、早速手當を受けることが必要であります。

妊娠中は母親の健康がとりもなほさず胎兒の健康であります。この重要な時期に於て母體の健康と共に精神の健康を保つ樣最善をつくすことはやがて母たるものゝ嚴肅な義務であります。

全身の機能 の衰へてゐる妊娠時には、僅かの病氣も遲れますとよくない結果を來すことがあります。僅かの不快疾病も速に醫治を乞はるゝことが必要であります。

手術は分娩後に延期出來得るものは、延すことがよろしく、殊に腹部外陰部附近の手術は流産、早産を促すことがあります。

母體の一擧 一動、及び精神生活のすべては、胎兒に影響するものであることは云ふ迄もありません。胎兒の神經系統を司つてゐる腦髓は、母の血を以て作られつゝあるのですから、母體の喜び、悲しみ、恐れ、妬み、そねみ等の感情が何等かの感化を及ぼすのは當然であります。

妊娠中平和を缺いた生活をした場合の子供は成人して罪を犯す率が多いと云ふことです。又獄中にて惱みながら生み落した子供は、生れてから最上の環境で育てゝも、性格が圓滿でないと云ふことであります。一人の母親の生んだ子供でありながら、兄弟姉妹それぞれ性格の違つて居りますのは、妊娠中の母親の環境思想その他がその時々によつて違ふ爲めであると云はれて居ります。之等の事實に依つても妊娠中の修養の大切なことは了解されるわけであります。

妊婦は先づ第一に愉快な外容を示す樣心掛けなければなりません。いつも心を平らかに清く正しく朗かに安心を持つて妊娠中を通したいものであります。常に安靜を主とし睡眠を充分と衆人群集するところ(劇場、映畵館等)に行くことはなるべく避け、精神を刺戟する讀物(悲しき物語)等はよくありません。

妊婦は僅かなことにも感動し易いものですから、務め自己の感情を抑制し、感情の動搖せぬ樣愼まなければなりません。

殊に怒りと 云ふ醜い感情から絶縁すべきであります。あまりに無關心なのも困りますが神經過敏になつて取越苦勞をすることは、愼まなければなりません。現代の知識と進歩した準備方法に依れば、妊娠分娩は何等心配することはないのであります。婦人は總ての點に於て、この神聖な經驗に堪え得る資格を惠まれてゐるのであります。健康と衞生の簡單な法則を正しく守りさへすれば輝かしい幸福が與へられるのであります。

妊娠中心を清く正しく持つた母親に立派な子供の生れます事は、昔から多くの事實が示す通りであります。妊娠中の心掛け一つでその子の將來に重大な影響を及ぼすことを考へますとき、その基礎は正しく築かれねばならぬのであります。實に母體の責任の重大さは何にたとへてよいやら

立派な子供を生む爲めには、一日半日たりともゆるがせに出來ないのであります。それ丈け責任の重大なものである丈けに、又實に自信と感激に充ちて、期待と歡喜の湧くものであります。

常に修養書をひもどき、清淨な繪畵、聖賢の姿等を室に掲げて朝夕にながめ、自然に親しみ、草花を培ひ、小鳥を飼ひ、高尙な音樂をきゝ、生け花、茶の湯等の趣味を持つ等

豐かな心情 を養ひ、優しい平靜な心の中に終始する樣心掛けることは、立派な子供を生む大きな條件になりませう。

家庭をいつも平和に、清潔整頓をむねとし、規則正しく愛情の深い生活を送りましたなら、怜悧な明朗な子供を與てられることでありませう。

それには妊婦自身の修養もさることながら、家族全體中でも夫の理解といたはりが必要であります。

生れてからの母の感化の著しいことは、どなたも認めることですが、それにも增して胎敎の大切であることを理解して頂き度いと思ひます。

△京都の官幣大社八坂神社の祇園祭
△東京兩國の川開き
△山中鹿之介三百六十年忌(鳥取縣鹿野町幸盛寺)
△富士山大噴火す(自觀六年)
△江戸を東京と改む(慶應四年)

◇……素足に靴を穿くときは……◇

◇……夏場になると往々素足のまゝで子供に靴を穿かせる家庭を見受けますがさうする時には靴底に吸取紙を敷いてやつて御覽なさい、汗をキレイに吸ひ取つて呉れます。これをまめに取換へてやるやうにすると、いつもサバ〳〵して穿き心地がよいといふ事を覺えて置きませう。

◇……絹の靴下の新らしいのを穿く時は前以て一度水に通してから穿くと、いやに安つぽく光ることがない許りか雨に逢つても汚染が出來ないのは、反物を縫ふ前に一度湯通しをするのと同じ理窟です。水の中にアルコール數滴落せば更に申分がありません。

◇……足袋でも買立ての硬直したのをそのまゝ穿くよりは、一度水を通して糊を落してから穿く方が穿き心地もよし、足にピッタリと着いて自然恰好よく穿く事が出來ます。

◇……靴下は決してひどく汚れるまで穿かずにまめに洗濯をするのが保ちをよくする方法である位は經驗者は先刻御承知の事ですが、梅雨期から夏にかけては殊にこの必要を感じます。

涼風通信

新京高女團第一信

涼を趁ふて

七月十日

朝からの雨！折角の旅立ちを前にして天を恨み乍ら……驛へと向つた。暗いお空、シト〳〵降る雨、何だか陰氣臭いステーションも女學生の喜びにみちた顏と顏とで明るい雰圍氣がたゞよつてゐる。お見送りのお母さん、おばさん、お姉さん等々……それ〴〵大切な〳〵お孃さんに種々樣々な警告を發してゐる。バレー、バスケットで飛び廻る元氣なお孃さん方もお母さんの前ともなれば赤ちやんみたいに甘えてゐる、ほゝえましい場面、早川さんの「元氣でいつて參ります」の御挨拶を最後に一人殘らず車中の人となる。「サヨナラ〳〵」「お元氣でね」窓よりのりだしてゐる人、デッキに立つてゐる人兩方から振る手が、ハンカチがだん〳〵遠ざかつて切々、プラットフォームに立つ人を殘して過ぎ去つて行く。喜びの次には悲しみが後追ふといふが、お母樣や姉樣に別れる時は何かしら淋しい樣な感じがした。それに雨はシト〳〵と降るせいもあらう。皆馬鹿に神妙顏をしてゐた。その内に一、二年生がだん〳〵さわぎだした。誰ともなしにもうケースのチャックを引く者、トランクを開ける人、更にもう口を開けてゐる人、歌つてゐるグループ、トランプのはしやぎ、とりとめない話しをし乍ら、笑つてゐる間に車は雨の中を大連へ〳〵と進んで行く、ふと氣がついた時には雨もやんでゐた。

やつぱりこのテル〳〵坊主はきくわといふ驛にその方を見るとサクラン坊で出來たテル〳〵坊主がぶらさがつてゐる、つや〳〵したその色、雨あがりの後の水々しさを思はせて雨後晴のまじなひには正にもつて來いのもの。

驛々でスタンプを押しに一、二分の停車時間を飛び廻つてゐる人もあつた。十一時半を待つた。奉天だ！アイスクリームはしさに眠つてゐた者も起きて下車した。でも折角のアイスクリームが無くてガッカリして終つた。いよ〳〵ねむくなつたらしい皆、そろ〳〵毛布を下したむしあついのを我慢してねたがどしてもやすめないので皆寢てゐる處を一人で夜廻りのおばさんの樣に車中を往復した隨分お行儀の良い寢方をしてゐる人もあつた。手布をかけてやつたりして歩き廻つたのも座席がない爲め三時半頃代つて貰つて五時半迄一息にねむつた。(杉原、友眞、西原)

けふの番組

(M・T・O・Y 新京放送局) 十七日(土曜日)

○××朝××○

六、三〇 ラヂオ體操・入港船のお知らせ(大連)
六、五〇 中等滿洲語講座 講師 秩父固太郎(大連)
七、一五 朝の音樂 引續き 防空ニュース(大連)
七、四五 建國體操
八、〇〇 氣象通報(東京)
九、三〇 經濟市況(東京)
一〇、〇〇 家庭講座(哈爾濱) 夏の婦人の皮膚 日本赤十字病院皮膚科醫長 醫學博士 田崎龜夫
一〇、二〇 料理獻立(奉天)
一〇、三〇 家庭メモ
一〇、四〇 經濟市況(大連・新京)
一一、三五 經濟市況(大連)
一一、四〇 經濟市況(東京)
一一、五九 時報(東京)

○××晝××○

〇、〇五 晝の演藝(レコード)
〇、四〇 ニュース(東京) 引續き 防空ニュース・ニュース
一、〇〇 經濟市況(大連・新京)
三、〇〇 經濟市況(大連)
三、四〇 經濟市況(東京)
四、〇〇 ニュース(東京) 引續き 防空ニュース・ニュース
四、三〇 經濟市況(大連) 引續き 野球試合實況(新京西公園野球場より中繼)
五、二〇 ニュース(鮮語) 演藝(鮮語) ―野球ある場合は中止―

○××夜××○

六、〇〇 科學講話(東京)―野球ある場合は中止― 雷の話 遞信省電氣試驗所第三部長 笠井完
六、三〇 子供の時間(仙台) お話 燈台を守る 青森縣尻矢崎燈台看守長 植田三郎
六、五〇 コドモの新聞(大連)
七、〇〇 ニュース(東京) ニュース・告知事項・番組豫告(新京)
七、三〇 講演(大阪) 足柄訪歐特別任務に就て

子供と家庭の夕

海軍少將 小林宗之助

子供と家庭の夕

八、〇〇 ●第一部(東京)
吹奏樂 海軍々樂隊
一、行進曲「戴冠式の鐘」 指揮樂長 内藤清五 パートリッヂ作曲 外

八、一五 ●第二部(大阪)
一、朗誦(その一) 感恩の歌 竹内浦治・作 儀部賀堂
二、ラヂオドラマ 鬼子母 長谷川幸延・作 胡蝶座
三、朗誦(その二) 報恩の歌 竹内浦治・作 儀部賀堂
四、物語山椒太夫 森鷗外作、JOBK文藝課脚色 田村秋子
五、獨唱 加藤貞子 ピアノ伴奏 武澤武
(イ)國民歌謠 心の子守唄 稻野靜哉作詞 宮原禎次作曲
(ロ)子守唄 古謠 大中寅二作曲

九、三〇 時報・ニュース(東京) 氣象通報・ニュース・告知事項・番組豫告(新京)
一〇、〇〇 防空ニュース
一〇、〇五 露帝ニコライ第二世を偲びて(哈爾濱)
一、挨拶
二、聖歌合唱
三、鎭魂祭式典
一〇、三〇 北滿の時間(哈爾濱)

後八時(東京) 吹奏樂

海軍軍樂隊 指揮樂長 内藤清五

軍艦「足柄」に搭乘してロンドンに行つた内藤樂長の歸朝第一回のタクトである。

◇……………◇

一、行進曲「戴冠式の鐘」 パートリッヂ作曲
今度の航海の目的であつた戴冠式を目のあたりに描き出してゐる喜びの行進曲である。

二、行進曲「親しき戰友」 タイケ作曲
有名なタイケの傑作「舊友」と譯されることもあり屢々放送されて好評を博してゐる。

三、行進曲「軍艦足柄」 海のますらを作詞 海軍軍樂隊作曲
(一)時維れ昭和十二年、英帝晴れの御盛儀に、參列の命かしこみて船出せしこそ雄々しけれ
(二)榮ある使命身に帶びて、健兒の意氣は天を衝き、稜威輝く足柄の、鵬程こゝに一萬餘
(三)常夏の島後にして、怒濤

東京[illegible]

卷く印度洋、苦熟の紅海すぎ行けば波の音高し大西洋
(四)スピートヘッドに展げたる、曠古に光る大繪卷、數ある國の艦の上に、一きは高し日の御旗
(五)キールの港訪ねては、熱誠こむる歡迎に、固く結びし兩の手は、歐亞を結ぶ國の華
(六)重なる使命果しつゝ、晴れて祖國の土を踏む、歡喜の胸のときめきに、皇國の空を仰ぐかな

四、行進曲「軍艦」 瀬戸口藤吉作曲
お馴染の勇壯な軍艦マーチ

後八・一五(大阪) 第二部

本日の子供と家庭の夕の第二部を受持つBKは親と子の愛情を强張することを主眼として編成いたしました朗誦その一は、子を思ふ親の情、その二は親を慕ふ子の心をうたつたものである。

一、朗誦(その一)
「感恩の歌」 竹内浦治・作 儀部賀堂

あはれはらから心せよ、山より高き父の恩、海より深き母の恩、知るこそ道の始めなれ。兒を守る母のまめやかに、我懷中を寢床とし、かよわき胸を枕とす、骨身を削るあはれさよ、美しかりし若妻も、幼兒ひとり育つれば花のかんばせいつしかに、衰へ行くこそ悲しけれ、身を切る如き雪の夜も、骨さす霜の曉も、乾ける處に子を廻し濡れたる處に己れ伏す、幼きものの頑是なくところ汚し脊を濡らす、不淨を厭ふ色もなく洗ふも日々に幾度ぞや、己れは寒さに凍えつゝ着たるを脱ぎて子を包み、甘みは吐きて子に與へ、苦きは自ら食ふなり、をさな兒乳をふくむこと百八十斛を越すとかや、まことに父母の惠みこそ天の極まりなきが如し、父母は我子のためならば惡業つくり罪かされ、よしや惡趣に落つるとも少しの悔もなきぞかし、若し子遠く行くあらば歸りてその面見るまでは、出ても入りても子を憶ひ、寢ても覺めても子を念ふ、髮くしけづり顏ぬぐひ衣を求め帶を買ひ、美しきはみな子に與へ父母は古きを選むなり、己れ生あるその内は子の身に代らん事を想ひ、己れ死に行くその後は子の身を護らん事を願ふ、よる年浪の重なりていつか頭のしも白く衰へ增せる父母を仰げば、落つる涙かしあゝ有難き父の恩子は如何にして酬ゆべき、あゝ有難き母の恩子は如何にして報ずべき

髮しろくなりても親のある人も多かるものをあはれ親なし (橘曙覽)

二、ラヂオドラマ
「鬼子母」 長谷川幸延作 胡蝶座

鬼子母神の像を見たことがありますか、鬼子母神は、頭に黄金の冠をいただき、首に瑠璃の首かざりをかけ、胸に幼い子を抱き、右手に石榴の枝をもつてゐらつしやる美しい女身で、子供のない人がお願ひすると子供をおさづけ下さるといふお優しいお方です。しかしその樣に美しい優しい鬼子母神ですが、もとは怖ろしい惡鬼にも似た女でありました。

◇……それはずつと昔、まだお釋迦樣が祇園精舍においでになつた時分のこと、天竺の大兜國といふ國に一人の女が住んでゐました。その女には自分にも澤山の子供があつて可愛がつて育てゝゐながら人の子供をとつてたべるといふ怖ろしい女で、人々は鬼子母〳〵といつてこわがつてゐました。殊に鬼子母のために子供をとられた母親はどんなになげき悲しんだ事でせう。中には悲しみのあまり病氣になつたり、身を投げて我子の後を追つて死んだ母親さへ澤山ありました。お釋迦樣はこの事をお聞きになつて、鬼子母の心を改めさせてやらうとお思ひになり、お弟子の阿難といふお方に鬼子母の子供を一人連れてくるやうにお言ひつけになりました。阿難は幸ひ鬼子母の留守の間を見はからつて嬪伽羅といふ女の子を一人連れてお釋迦樣の處へかけ戻つて參りました。やがて愛子を釋迦樣に隱されたことを知つて半狂亂で馳せつける鬼子母に子を奪はれた母親の苦痛をしみじみとお說きになり鬼子母ははじめて我妾の淺ましさを知つて心を改め、お釋迦樣のお弟子になります。お釋迦樣はその御褒美に吉祥果(石榴)をお與へになります佛說鬼子母經から材をとり劇に仕組んでお聽かせしませう。

三、朗誦(その二)
「報恩の歌」 竹内浦治・作 儀部賀堂

あはれ地上に數知らぬ衆生の中にたゞひとり父とかしづき母と呼ぶ貴きえにし伏し拜み、起てよ人の子いざ起ちて、浮世の風にたゝかれし、餘年少きふた親の弱れる心慰めよ、さりとて見えぬ父母の夜半の寢顏を仰ぐとき、見まがふ程の衰へに、驚き泣かぬ者ぞなき、樹しづまらんと欲すれど、風のやまぬを如何にせん、子養はんと願へども親在まさぬぞあはれなる、逝きにしあゝ母上よ子をおきていづこに一人逝きますと、胸かきむしり嘆けども、歸りまさぬぞはかなけれ、父よ父よと呼べども答へまさぬぞ悲しけれ、父死に給ふその臨終に、泣きて念ずる聲あらば生きませる時なぐさめ言葉交はして微笑みよ、母息絶ゆるその臨終に泣きて合掌手のあらば、生きませる時肩にあて誠心こめてもみまつれ、實に古くて新らしき道は報恩のおしへなり、孝は百行の根本にして、信への道の正門ぞ、世の若者よとく行きて父母の御前に跪拜づけ、世の乙女子よいざ起ちて、父母の慈光を仰げかし

老いて後思ひ知るこそ悲しけれこの世にあらぬ親の惠みに (税所敦子)

四、物語
「山椒太夫」 森鷗外・作 JOBK文藝課編 田村秋子

陸奧の太守、平正氏は讒によつて筑紫へ左遷された。待てど歸らぬ正氏を案じて親子三人は女中姥竹を連れ岩代を後に旅に出たが、途中宿に困つて見知らぬ人とはいへ親切にほだされて宿をとつたがこの男といふのが山岡太夫といひ人買ひを世渡にする惡者で母親は佐渡に、子の安壽と厨子王は越中に賣られることになつた。親子主從は二つの舟に移され泣き狂ふ四人に用捨もなく無慘にも北と南に引き離されたのである。そして二人の子供は丹後の由良の石浦といふ處に邸宅を構へて田畑に米麥を植えさせ山では獵をさせ海では漁をさせる莫大な富を持つ山椒太夫といふ分限者の手に渡され此處で姉の安壽は汐汲みに弟の厨子王は柴刈りと馴れぬ仕事に酷使された。その苦しみにもまして母を慕ふ歎き、二人は淚の干す日がなかつた。

或日遂に姉の計ひで厨子王は姉から渡された守本尊と護刀をふところに都へ逃げのびた。運あつてかその後厨子王は國分寺の曇猛律師に救はれ追手の難を免がれた。そして東山の寺で關白師實に會ひ、守本尊によつて師實は正氏が嫡子と判つたよつて師實は正氏の讒所へ赦免狀を持たせたがその時すでに正氏はこの世の人ではなかつた。元服して正道と名のつた厨子王は身の饗れる程嘆いた。丹後の國守になつた正道はやがて人の賣買を禁じた。佐渡に渡つて探しあぐんだ後遂に正道はなつかしの母に巡りあつた。

五、獨唱 加藤貞子
ピアノ伴奏 武澤武
(イ)國民歌謠 心の子守唄 稻野靜哉作詞 宮原禎次作曲

學藝

日本映畫の躍進（上）

小宅赤八

新京に於ける映畫批判の一端として園田氏の「日本映畫の貧困」と題する一文を拜見するに及んでそれが如何に小兒病的であり無感覺であるかを如實に見せつけられたものである。

凡そ映畫の內容を問はず（映畫に限らず）脚本、技術、演技を批判する場合に於ては斯うした單純さに言ひ切る迄は余程大膽であるか、批判資料を持つてゐなければ書けるものではない

然も新京と言ふ地理的ハンデイを持たぬ批判などは斯んな言ひ方で批判をしては其の映畫批評には何等文化的價値を持たない、と同時に映畫の社會性に無智過ぎる（映畫評はあくまでジャーナリズムである）成程日本映畫は貧困であるが、決して內容に於て貧困では無い、寧ろ、外國映畫に比して遙に良心的內容を具へてゐるし日本的現實さを持つてゐる。或る一部の人は映畫を文學と混同し、文學的要素を求め、イデオロギーを欲し演出者に社會階級意識を學べと言ふ。斯くして「蒼氓」を「裸の町」を「眞實一路」を「夜の鳩」を日本映畫水準線作品と呼び現實映畫の中に現實社會を認め左樣に喜ぶの眞劍であるかロマンテイシズムか遊戯であるかは論外としても映畫は常に對社會で、對觀客である事を忘れてはならない（演劇に於ても同じ事が言はれる）觀客が無くて演技も脚本も生存しないし映畫は常に資本主義形態に於ける企業である（比んな事から「裸の町」の主人公の台詞をくど／＼と書き度くない）然も尚日本映畫製作スタッフは資本家を非難せず（引拔き騷ぎは論外）然して資本の良心に於ける缺陷を補綴し續けて行かねばならない。彼等は自己を非難されても（勉强をしてゐない斯か大學の講師だつてゐる）微笑する資本を見つめてゐなければならない。彼等をして高踏なる映畫藝術の牙城に據る寸暇を與へないのである。プドフキンやエイゼンシュタインの映畫藝術論は棚の上のぼた餅であるのみで自らの咽喉をしめて「現實」を吐き出すことにやつとの思ひである。自主性の限定されたところに日本映畫人の社會性と發展性があるのは演劇に於ける（主して新劇團體）演劇人が自主性の確保の爲めに環境をせばめるのと正反對の立場をとつてそれ／＼の道を踏みしめてゐる。

而も新劇人は遂に大劇場長期興行を獲得したではないか（東京の話であつて新京ではない。）日本映畫の變質的面貌は國內（對日本人觀客）の上にある企業として資本はことに重大な鍵を握つてゐる。要は映畫藝術が社會關係生産關係の反映であるなれば其の島揚は一に日本人觀客大衆の觀賞眼に基準するものである

王屬官（三幕八場） 12

牛島春子原作　藤川研一脚色

王　ナムそうか、いくら田舍にゐても月十元では苦しかつたゞらう、妻子はあるのかッ

周　ハイ、子供が四人ありまず。

王　よし、（張に）お前が暴力行爲にまで出たのが漸く判つた。

張　もつといゝてへ事がある俺をそゝのかしたは牌長だッ

趙　キサマ恩を忘れて

張　道通れだッ、一番うまい汁吸ふたのはお前ぢやねへかッ、それに牌長の奴は隣村の屯長とも手を結んで儲けてゐるんだッ

王　趙牌長、間違ひないかッ

趙　知らない／＼、ウソだ／＼

王　よろしい、判つた、（警士等に）周起成と張子林を連れて行き給へ

（ト二人を通行し去る）

王　劉星文に就いて聞きたいが……。

趙　あいつにや罪がありません、半分張子林におどかされて使われてゐたんです。

王　そうだらうと思つてゐたよく云つてくれた早速釋放してやらう

趙　私は何うなります

王　調書を省公署に送つた上で處置を取る、自分のした事が良いか悪か反省してみる事だッ

趙　何もかも云ひます、許して下さい。

王　今日一日考へて見るが良いッ

（ト、目くばせする、と警士趙を連行せんとすれば、趙床に額をつけ）

趙　云ひます／＼、許して下さい／＼。

（ト、その姿をヂット見てゐる中）―（暗轉）―

（夕）　第三幕第三場　闞玉福の家

（前場に同じ、舞台には、闞とその妻、祭介民、農民二、三有りて劉の話をきいてゐる）

（夕）　劉釋放さる

劉　今迄の事みんな勘辯して下せい。

闞　何の話をきゝやお前が悪いでねへ

劉　俺ア皆の衆に逢わせる顔がねへよ

闞　それで、あの張子林は何うなつたゞ

劉　三人共省公署の方に送られたゞ

闞　何うなるだな

劉　もう歸られねへだ、俺ア達を苦しめて國の税金ごまかしてゐたゞからな。

祭　それで一體何れ位取つてたゞ

劉　此の屯だけで三十八軒、九十六頭分で税票の發行數が二十四枚ぢやつたゞよ、一元五角づゝにして三十六元の筈だが、俺アが集めたゞけで六十八元五角になつてたゞ

闞　六十八元五角にな。

（トその時王文禎、飛び來り）

文禎　今、隣村から使が來て屯中の者を集めておけつて王床子から云ふて來たゞ

闞　王さんからけ

文禎　ん、俺ア皆に通知して來るだ、場所は此處にしとくぞ

闞　ん、ごくろうだな。

劉　キツト、今度の事の報告だな。

（ト、文禎走り去る。）

闞　縣公署の周さんは氣の毒だ、十元の月給ぢや食へねへだな。

劉　ん、建國前は縣の印紙調査員だつたそうだが十元ぢやなし、

（ト、ボツ／＼と六七人集り來るその後から、文禎妻母來る。次第に增し、庭に坐り込む者もある雜談の中に三十人ばかり集る）

（ト、百姓一）

百姓一　アッ、屯丁の劉だッ

〃二　アイツもグルだつたんだ

（ト、十人ばかり立上り）

一同そうだ／＼

（ト、迫らんとすれば闞、立上り）

闞　待つてくれ俺アから話してい事がある

（ト、一同がやノ＼と元の位置へ、ト、劉は一同の前へ飛び出し）

劉　俺れが悪かつた許してくれッ

闞　劉さんは氣の毒だつたゞ牌長と、張子林て役人上りのごろつきに、おどかされて一文にもならねへだに、何時も／＼俺ア達に濟まねへと思ひ乍らやつてたちうだ、みんなも劉さんを恨んどるだべか、考へてみりや俺ア達も悪いだ、なんぼ字を知らねへでも無暗に衙門をこわがつて金出してたゞからな（話の中文禎と王屬官來りそれをきいてゐる）今きいてみりや劉さんは子供が可愛いだに、あいつらの云ふ通りになつてたちうだ、皆の衆劉さんを勘辯してやつくれ、な。悪い奴は牌長の趙と張子林だからな

百姓一　そうだつたゞか

〃二　氣の毒だつたな、

（ト、がや／＼と私語の中に、王進み來り）

王　闞さん有難うよく劉さんを許してやつてくれましたね。皆さん、私からも御禮云ひます

（ト、近くにあつた木箱を持ち出しその上にあがり）

王　皆さん、私は皆さんにいろ／＼と御世話になつてゐる、王文禎の弟の王床子で省公署に勤めてゐる者です今日皆さんにお忙しい中を特に集つて頂いたのは、皆さんに是非共聞いて頂きい事があるからです、これから私の云ふ事を一つよく注意して耳にとめて頂き度い

――私は今隣村から飛んで來ましたが、彼等は相當に手廣く手を握つて、農民の皆さんを苦しめてゐたのです、隣村の賈村長も今拘引されました。

近作（一）

桃北好澄

北支事變

盧溝橋の寫眞を見ればこゝにして兵ら戰かひ傷けるかな

白旗揭げ尙し撃ちたる廿九軍の抗日意識をもへば酷しさ

白旗をかゝげて敵がうつ彈かいたいたしもよ天つ日のしたに

天津駐屯軍の聲明といふを讀み終へて何か爽々し今は眠らむ

龍王廟の土けぶりの中るいるいと敵の死體ぞ重なりをりしと

第三艦隊警備につきしニュース讀み暗き灯の下に坐れる

三重苦の聖女　ヘレン・ケラー小傳

發聲

今でもヘレンの耳は全く聞えません。病氣の後耳がきこえなくなつてから、言葉も出來なくなつたのです。幼少の頃から彼女は、猫がゴロゴロと喉を鳴らしたり、犬が吠えたりする時に、喉のあたりの筋肉の動きを手で觸るのが好きでした。ヘレンケラーがハイフエッツの提琴に恍惚と聞き入つてゐる貌の寫眞を見ると彼女は片手でバイオリンの首を握つてゐます。指先が耳の役までも引受けてゐるのです自分の言ひ度いことを表現するのも、人の意見を聞くのもいづれも指先を通ずるより他に途のない不便な窮屈な狀態から拔け出し度いとの切なる希望は一八九〇年ヘレンが十一歳の時ラムソン夫人が訪ねて來てラグンヒルト・カークといふノルウエーの聾で盲の女か發聲法を研究して成功したといふ話をして下さつた時一そう熾んに燃え上り、サリヴアン先生をせき立てて、この方面に造詣の深いホレースマン學校長サラーフラー・女史の許へ指導を仰ぎに參りました。校長先生は自ら教授を引受けて下さいまして、一時間の後にはW・P・A・S・T・Iの六箇の發音が出來るようになりました。彼女が今日多少不自然なところはあるにせよ、公衆の面前で語れる迄になるには、一八九四年から二年間紐育のライト・ハマソン聾唖學校で發聲法を研究した結果でありますが、それにつけても常住座臥ヘレンと離れないサリヴアン先生の、涙ぐましい眞劍な努力は後にお話致しませう。

序ながらヘレンは紐育にゐた二年間の中、獨逸人に就て勉强しましたので僅か數ヶ月で獨逸語なら何でも判る樣になりました。熱心であつたからでせうが頭腦が凡庸だつたら到底出來ない藝當でせう。

剽竊事件

ヘレンが數へ年十三歳の時のことですパーキンス盲學校アナグース先生の誕生日の御祝として『霜の王樣』と題する物語を差上げたところ、パーキンス盲學校長アナグース先生は大變御喜びになつて學校の雜誌に轉載なさつたのです。すると、それと筋のよく似た物語が既にケラーの生れる前から出版されてゐるし、筋のみか用語までがすつかり同じだから屹度剽竊したに違ひないと、無理解な人に訴へられて可愛そうに不具な兒は少年審判所に引出されて冷酷な裁判を受けました。結局は無罪になりましたものの、この時の衝撃が柔い小娘の胸をどんなに傷つけたか、幼少の頃の明朗な思出はすつかり曇らされ、子供の時だつたからよかつたものの、若し成人してゐたら自殺してゐたかも知れないと自ら語つてゐます

事の起りはかうでした。ボストンへ行つた年の夏休みに避暑地で同宿の令孃にその話を讀んで貰つたことがあつたのですがヘレンはそんなことはすつかり忘れてゐました。サリヴアン先生も御母さんもそんな事はちつとも御存じなかつたのでしたが、秋の爽やかな風物に誘はれて胸に浮んだ詩想を綴つた時、或る夏の追憶が識らず識らずの間に蘇つて來たのでした。學校の先生が一流作家の文章を剽竊しても大した問題にはならない日本では、一寸想像もつかない事件ですが、ヘレンの傳記には必ず書かれてありますし自叙傳中にも認めてあることですから書き添へます

公認
電話貸借便利扱
取扱一切迅速
電話御時金融
帖名其他多額貸
○賃貸は老舗
なる當社へ!!
東一條通り四六
新京土地建物會社
△電話相談部
電3四八二八

小兒科
(入院隨意・往診應需)
長春醫院
新京神社ノスグ前
院長 德丸スガ
電(3)六二四一番

營業品目
一般農機
牧畜用機
加工用機
副業用機
附屬動力機

滿洲農機株式會社
新京・住吉町 電話長③三二六五番
大連市連鎖街 電話長③二二六五番

海陸運送
荷造引越
トラック運搬
新京三笠町二丁目
西山運送店
電(3)六三二四二四四六番

醫療器械
村中兄弟商會
豊樂路二四〇號
電話(2)一五六〇

看板は
玉江
新京キネマ前
電(3)二八二八

優秀な技術
美術寫眞
小西寫眞館
新京大經路西三馬路角
小西吉雄
一三九五二番

準備演習第四夜

猛暑に挑みつゝ國都防空の試練

昨夜九時四十分〃非常管制〃

演習愈よ最後段階へ

準備演習と名はつけど市民は今次の演習が如何なる意義を持つかを徹底的に認識せねばならない、新京地區準備防空演習は十六日第四夜を迎へた、第一夜、第二夜、第三夜に比較すれば統監部の献身的努力により、防護團關係指導者の演習各項に對する理解も漸次深まり、參加市民の協力も次第に熱烈になりつゝある、しかして第三夜十六日は統監部幕僚長談にある如く一部不心得者のために未だ完全とは言へないのは遺憾とされてゐる、第四夜こそ文字通り一致協力、如何なる最惡の事態に立至るもなほ「國都全し」の感を與へる程の成功を祈らざるを得ない

例によつて午後八時の情況開始とゝもに空襲如何にと空を睨んで待機する防護團員、市民の耳に午後九時二十分、先づサイレン、それ！空襲とばかり、一齊に非常管制に緊張する、しかし電燈も點滅せず、ラヂオも警報を傳へず半信半疑のまゝで、ともかくも準備を了するとまもなく如何した間違ひであつたらうラヂオはサイレンの誤報を傳へて、市民の張りつめた氣を拔くとゝもにホツト安堵の胸を撫でおろさせた、—が待つ間もなく本格的空襲警報は同九時四十分再びサイレン、の一齊咆哮ラヂオの放送電燈點滅の中に報ぜられた今度こそ眞物だ市民の中には未だ先の非常管制をそのまゝにしてゐたものも多かつたので、それこそ直ちに準備完了したらしい、かくして卅分の後午後十時十分敵機の攻撃も空しく首都は再び安全圏に腹し、非常管制解除警報は發せられ、そのよく翌日拂曉まで警戒管制は續けられた【寫眞は廣春洋行前の演習】

收容班が收容されかけたり

消火栓とマンホールを混同視

過失又体驗の數々

きのふ西公園前の演習で持久性毒瓦斯に見舞はれた交通行人中瓦斯傷を負つたものは衛生防護團收容班の擔架で新京醫院に收容し、消毒、治療の手當をうけた、收容班員はいづれもかねて醫務に携つてゐる二十才代の元氣旺盛な青年ばかりではあつたが着馴れぬ防毒マスク、防毒服の長いものは一時間餘りも着てゐたゝめ新京醫院に着くときは殆どへと〳〵に弱り切つて、危く收容班が收容されそうであつた、目は眩みそうになつても最後まで頑張り患者を醫務室に屆けるやら木影に走り、防毒マスク防毒班をかきむしる樣に解けば頭から水をかゝつた如くに汗は流れ出で用意されてあつたバケツの飲み水はまたたく內に無くなつた、

×　×

同日午後三時から金泰洋行防護團と協力して金泰洋行前で防空横習が行はれた、敵機が投下した催涙彈は日本橋通り新京銀座、東二條通りの繁華街に猛威を逞ふして四方に散亂すれば通行人は殆ど兩眼をやられて目は赤くして、防護團員も既に參つて仕舞つた、のうち一防火班員は催涙彈を使こた〃みどり筒〃を〃發筒〃と間違つて放水して消したりした

×　×

「敵機に見舞はれた金泰洋行は目下燃燒中、滿鐵消防隊は他に出動のため應援不可能」の情況に基いて馳せ付けた防護團第二分團防火班二十餘名は手に手にバケツ、ホースを持つて馳けつけたが消火栓を探すに戶迷ひ數分間を費した、漸く探し當てたが一丈のホース一本では火災現場まで三分の一にも及ばず防火班は更に狼狽してゐるうちに〃演習止め〃の命令が下つた、切角探し當てた消火栓は消火栓に非ずマンホールであつたのを橋國消防隊監督の講評によつて指摘され團員も指導員も參觀者も苦笑してゐた、あれもこれも失策ではあつたがまことに得難い體驗であつた

南關防護分團の避難演習と渡河工作

南關防護分團の防空準備演習は十六日午後二時から石原大尉、首都警察廳西警佐指揮のもとに行はれた、南關上空を襲つた敵機は滿洲煙草公司に燒夷彈及び一時性瓦斯を投下火災を起したとの報に南關防護分團員は警察官指揮のもとに直ちに現場に急行、けたたましい工場のサイレンによつて一糸亂れぬ統制下に防火、防毒、避難誘導班等それ〲受持個所に行動を起した工場從業員と協力防火、防毒に努めた結果程なく鎭火、ほつとする間もなく今度は南關全安橋がまた〲敵彈に破壞されたとの入報があり、城內南關を結む交通要衝個所の危機に分團員は必要材料を携帶して直ちに現場に急行、炎天下に果敢な渡河工作を開始した橋上の通行をピタリと中止し渡河工作班は命令一下橋を中心として上流及び下流に分れ瞬時の躊躇もなく、其一部はおの〲通行路を示すロープを携へてせゝらぐ流れを蹴つて對岸に駈け上り兩々相呼應してこゝに非常時渡河工作はすつかり完了、橋上にせめぐ交通機關は下流より、一般通行人は上流ロープを傳ひ小舟に乘つて順次渡河を開始した、水深三尺餘もあらうか車體の大半を沒し波しぶきを上げて行くバス、乘用自動車の渡河狀景は文字通りの非常時風景を現出し石原大尉より二、三の注意あつて同三時三十分多大の效果を收めて終了した

附屬地防護團の集團防護演習

西公園をトップに三ヶ所で

必死の演習風景展開

十六日附屬地第二分團の西公園前に於ける集團防護演習は午後一時四十分の空襲警報に依つて開始され、公園前中央通街路上に瓦斯彈投下の狀況を與へられた第二分團の各班は即座に待機地點を出發、交通整理班の機敏な活動に依つて織るが如き車馬の通行は忽ち見事に整理せられ、防毒面防毒衣に身を固めた瓦斯斥候瓦斯檢知班の活動、救護班の擔架に依る負傷者の搬送、それに續く消毒班の路面消毒動作等が極めて順調に行はれ、よく整備された防護器材の活用と相俟つて僅々十二、三分でこれ等の作業が終り、交通も忽ち舊に復し公園で指導官末次少佐、原大尉の講評があり概ね良好の成績を以て終了した、次で假想患者は更に救護班の手に依つて滿鐵醫院に送られたのであるが、本醫院の救護設備は眞に至れり盡りで院長、醫師、看護婦等總員出動し醫療器材藥物等も總て安全に整へられ實際の通りの救療動作が行はれた、斯くの如く完備した施設と實際的活動は從來內地の大都市で行はれた防空演習に於ても見ることが出來なかつた程の完全なもので殆ど理想的と言つてよくこの日は暑さも殊に甚しく救護班の如きは患者を醫院に送り終るまで殆ど一時間近く防毒衣防毒面を裝置して居つたので防毒長靴を脱いだ時などはたまつた汗が恰も川を渡つた後の水の樣に流れ出る有樣で防護團員の活動にも眞に實戰的意氣込が窺はれて壯烈なものがあつた、次いで午後三時から金泰洋行で防火演習が實施され三十餘名の店員で結成された金泰洋行防護團は第二分團員と協力して狼狽する婦女子顧客を地下室に誘導避難演習を行ひ、同三十分から金泰洋行倉庫の消火演習引續き吉野町廣春洋行前に於て通行者避難救容訓練が開始された、午後三時四十分吉野町の盛り場の眞中に敵機の投下した一時性毒瓦斯は破裂、折柄通行中の人波は催涙瓦斯のために涙をぼろ〲流し避難所を探し求めるのを救護班は機敏に活躍して廣春洋行の地下室に避難せしめた、老も若きも男も女も、街上の人波は涙の氾濫だ、馬車に乘つたお客も導かれて避難所へ收容され異常な演習風景を展開して四時豫定の實施計畫を終へ演習は幕を閉じた

あぶら日照り

きのふ最高溫度三五度四

二、三日中に崩れるか

八日午後十數年來の酷暑三十六度五（華氏九十七度七）にはね上つた國都もじつくりと潤ほした慈雨に一時緩和されてゐたが再び照り出した暑氣は日一日加はり十六日は朝からのあぶら照りに室內も木蔭もあつたものではない、じつとしてゐてさへじく〲と玉の汗が滲み出る、それもその筈水銀柱は三十五度四（華氏九十五度七）と本年で二番目の酷暑である、觀測所の調査によるとこの暑氣は殆んど全滿的だが天氣はどうやら落ち目で明日（十七日）あたりから崩れるのではないかと見られてゐる

聯合防護團本部から一般市民へ警告

十六日午後五時新京聯合防護團本部は新京一般市民に對し左の如き警告を發した

十三日より實施せられたる燈火管制は統監部よりの發表にもある通り一般に概して良好なる成績と云ふことが出來るが尚左記事項については不充分であるから特に本夜以後其の實施に遺憾無きを期せられたい

一、一般市民は軍の規定によつて燈火管制を實施する義務を負はされて居り、家庭に於ては主人（不在の際は主婦）が責任者である、この家庭の責任者は自ら家庭の燈火管制を實施し自ら其の狀態を屋內及屋外から監察して萬全を期すべきであつて徒に警察官や防護團の監督指導を待つて始めて實施する樣な不心得者は善良なる新京市民とは云ひ難い

二、特に夕刻警戒は官制に入つた頃の電燈「カバー」の蔽ひが不完全であるから點燈時刻前に完全に「カバー」を蔽ふこと

三、警戒管制中は一般住宅に於ては原則として點燈し且電燈「カバー」を使用すべきである、窓蔽は大商店等の「六〇ワツト」以上の電球を使用せる場所は警戒管制中より實施せねばならぬが一般住宅にあつては非常管制中のみ使用する樣設備し且實施すること

四、昨十五日夜の非常管制間屋外に光が洩れる家が少數あつたのは遺憾である特に二階以上の高所の室が不完全である

五、非常管制中屋外に喫煙する者や燐寸を點ずるものがあるがこれは嚴禁

六、非常管制に入ると自動車馬車、人力車は消燈停止すべきである、乘客は此點充分注意せねばならぬ

七、非常管制間は自轉車類は消燈し乘用者は降車して歩行すること

八、空襲警報に應じて非常管制を實施する行動が緩慢であるこの時は敵の飛行機が眞近に近づいた時であるから急速に動作することが必要である

九、一般に表通りの管制には注意を拂つてある樣子であるが裏側の鎖火の管制が不充分である、これでは「頭隱して尻隱さず」である

十、便所、浴室、炊事場等は警戒管制設備のみではなく非常管制の設備もして置かねばならぬ

十一、夜半以後に於て裸電燈を使用する不心得者がある

防護團員へ注意

一、警戒管制へ非常管制の目的相違區分を確實に認識し市民に對する指導を誤らすこと、之が爲防護團員の配置に先だち毎夜分隊或は班毎に認識の程度に鑑し警察官の點檢考査を受くべし

二、燈火管制施設並實施の指導は各戶につき徹底的に實施すること

三、空襲警報に即應し急速に警戒管制より非常管制に入らしむる如く市民を指導督勵すること

四、防護團幹部は團員の配置に際し任務を明確に與へ且團員の行動に方りては常に必ず警察官と密接なる連絡を保ち其指示を受くる如く努むること

北支皇軍へ献金相踵ぐ

モンテカルロ從業員から慰問袋と献金

きのふ關東軍司令部に持參

ネオン、ヂヤズの狂躁界に職場は求めて居れど、何れかは劣らぬ日本國民、一朝事あれば此の赤心、銃後の力をみて下さいと、國都ダンスホール、カフエー等の從業員の血の出る樣な尊い献金は北支の風雲急を告げるとともに續々相次いで美はしい軍國風景を描き出してゐるが、十六日午後には豐樂路モンテカルロ全員百十名の山の樣な慰問袋並びに恤兵献金が關東軍司令部に屆けられた、同館では十五日深更營業の終るを俟つて、平素ならば夜の勞働にすつかり疲れて死んだ樣に眠りに就く麗人達も、ドレスを脱ぎすて甲斐々々しい襷がけとなり一人一個の眞心こめた慰問袋を徹夜で縫ひ上げたのであつた支配人中島謙夫氏もこれ等從業員の熱心さにすつかり感激して自らは金百圓を献納することゝなり、慰問袋作製費の殘余金五十圓とともに十六日中島氏につき添はれた代表峰信二氏、梅野豐子、月岡巴、江川幸子、藤川ヒロ子の諸嬢によつて持參され献金手續を取つたものである【寫眞は右から藤川、江川、月岡、梅野、峰、中島の諸氏】

ポーター協會からも百圓献金

北支の風雲急を示げて以來献金佳話相つぐ國都に今度は旅客の心付けで生活してゐる內鮮滿人で結成されてゐる新京各旅館ポーター店友協會では十六日午後新京驛警察官詰所に代表者が訪れて

これに我等の店友會々費積立金が百二十圓ありますが我等が飲酒に使つても何にもならぬから、北支事變勃發の際何か國防献金の一端に當て下さい

と國防献金の申出があつた、當番の丸山巡査も感激して關東軍へ寄附の手續きをとつた

協和會司法部分會千圓を献金

滿洲帝國協和會司法部分會では北支事變の前途ますます惡化の兆あるに鑑み十六日同分會員一同より醵出せる國防献金一千圓を關東軍に贈つた

燈火管制材料の賣上利益を献金

特別市七馬路建築材料商清昌公司內瀬來きみゑさん（四二）は十六日午前中頃警署を訪れ今回の防空準備演習に際し燈火管制用の材料を販賣して幾分の利益を得たからと金二十五圓を國防献金として寄附申し出でた、尚先に通化路小野寺英一氏からも同署を通じ十圓國防費に献金した

明治生命社員二十圓献金

明治生命株式會社新京事務所社員親和會では國防献金として二十圓を新京署を經て寄附した

航空少年團けふ團旗授與式

大空へ憧れの夢をのせて去月卅日新京南飛行場で雄々しくスタートした新京航空少年團の團旗授與式は十七日正午から新京神社境內で盛大に擧行される、式は日本側各學校十二團體、滿洲側各學校十三團體計二十五團體八百十八名の團員は十一時半までに神社前に集合、來賓各學校長、各機關代表者等著席係員の開式の辭について神職の修祓があつて一同神社に最敬禮を捧げ全員を代表して飛行協會新京支部皆川支部長玉串を奉奠、團旗授與に移り日滿國旗に飛行機をあしらつた燦然たる團旗を授與し一場の訓示を與へ萬歲三唱神社を參拜して解散の豫定である

大同學院卒業式

大同學院では十七日午前十時から第二部五期生の卒業式を擧行する

建國大學創立準備委員會

建國大學創立準備委員會は十七日をもつて終了するが、張總理大臣は十七日午後七時より日滿兩委員全部をヤマトホテルに招待盛大なる宴會を催すことゝなつた

電々勝つ　對撫順軍戰

5—4

撫順野球遠征軍の最後對電々戰は十六日午後四時半より西公園球場で大辻（球）疋田孫三氏審判のもとに電々先攻で開始された、劈頭遊手近藤君の過失で撫順の一番打者伊藤君にダイヤモンドを一週させ一點を與へた、電々軍以後一入緊張し特に鈴木投手健闘よく敵を封じたが六回裏に小林近藤兩君の過失で小寺、木原君を出し混戰の因を造り結局この回に三點を入れ電々危く見えたが九回裏に鈴木（勝）君の殊勳のホームランをきつかけに鈴木（健）君投手强襲安打に出で續いて宇多村君の同性安打に鈴木（健）君生還して一點をリードし意氣大いに昂り七回頃より少く疲れたかに見えた鈴木（勝）君再び調子を戻し好投遂に一點の差で撫順を破つた、閉戰六時廿分

電々	0	0	2	0	1	0	0	0	2	—5
撫順	1	0	0	0	0	3	0	0	0	—4

フレンソーダ

新京醫院の吉村先生、きのふ衛生防護團の演習で若い者に率先して防毒マスクに、防毒服をつけて指揮してゐた▲これで耐暑競爭をやれば勝負は早い、まだ君等に負けはせぬと意氣込んでゐたがやがて演習は續けられ四十分も活動してゐたが演習中止とともに冠つたマスクを拔ぎ捨ててみんなまだ付けてゐるのかと體中豆粒大の汗を流して盛んに水をあふつてゐた▼勝負は別として團員は揃つて頑張り續けた、▼この意氣なら催涙彈も燒夷彈も何のそのだ

悲戀 **髑髏組**（映畫化 上演）

林杢兵衛
金子士郎畫

（百五十三）

幾代の過去（十三）

「なる程、さう事譯を聞かされて見りや、待たねえ譯にも行くめえが、ぢやア勘藏、こうしたらどうだ」

「どう云ふ都合にで御座んす？旦那……」

「さう開き直られて見ると、此の年をして何んだか云ひ憎い話だが……」

と、急に頭を掻いて云ひ淀む治郎右衛門。

「ヘッヘヽヽ何んの事で御座んす旦那、あつしの前で……」

「お前がさう云つてくれりや、はつきり云ふが、どうだ勘藏、三百兩の證文は、綺麗に、棒を引いてやるが……幾代を、なんとか承知させては呉れないか？」

「えッ！ちやあの三百兩を……」

怪しく光る勘藏の眼。

そんな話が、治郎右衛門と勘藏の間に交されてゐるとも知らないで、昏々と眠り續ける幾代だつた。

その半ば閉られた唇から、やがて二つ三つ咽ぶやうな深い呼吸を吸ひ込んだと思ふと、時々眉が寄せられて、苦しさうに身體を動かしだした。

次第に幾代の昏迷な意識が、明瞭になつて行くにつれ、胸のあたりにいちじるしい壓迫を感じて來る。それは嚴い病氣の重味ではない。

半眼を見開いた幾代の眼に映る朧の人影。枕の方に誰かが立つてゐる。

（治郎右衛門だ）

そう氣がつくと、幾代は、バネ仕掛の人形のやうに跳ね起きた。

蒲團をむき出して、ニヤニヤと野卑な薄笑ひを、口元に浮べてゐる治郎右衛門。

「あれッ！」

幾代は、身を固く縮めて、薄氣味の惡い治郎右衛門の顏を見詰めてゐる。

「ふッ、ふッなにもそんなに驚くことはない、俺は、亭主に、何も彼も承知をさして來たんぢや」

「いけません、出て行つて下さい。此處はお客様のいらつしやるお座敷ではありません。は、早く……」

「なにを云つてるんだ。俺はたつたいま、亭主の勘藏に三百兩と云ふやうな、大枚な金を撒つて、お前を落籍して來たのぢや、ふッ、ふッ、だから何んと云つて騒いでも、お前はけふから俺の自由ぢや」

「知りません、妾は、主人から、お金で賣られるやうな、そんな覺えはありません」

「でも、俺はちやんと濟ましたのぢや、だからお前がなんと云つても、けふからは、俺の心のまゝにする手活の花ぢや」

「知りません、知りません」

幾代は狹い部屋の中を、しどろに逃げ惑つた。それは丁度、飢えた野獸の檻へ、小羊を投げ込んだやうなものであつた。

治郎右衛門は、一方の襖際に立ち塞がつて、兩手を擴げ、次第に場所を狹めて行つた。

小羊は、隙あらばすり拔けやうと身を焦つたが、猛然と迫る野獸の前に、死物狂ひの氣力も次第に盡きて、やがてはその足許へ、牡丹の崩れるやうに、倒れて行つた。

舌なめずりをしてだき起した治郎右衛門の眼は、慾望のため、焔のやうに燃えさかつてゐる。

と——其處へ、勘藏がヒョッコリ顔を出した。

「旦那、どうなせえやした？」

「どうもこうもない。此の通り儂は疵だらけぢや、まつたくどうも氣の强い女で……こんな手強いのに會つたのは始めてぢや」

ふうふうと、呼吸を荒く肚を搖してゐる治郎右衛門。

家庭医学

榮養學上からみた 流產・早產の原因

ビタミンが不足すると早產し易く 無機質が缺乏すると流產を招く

普通、流產と云はれるのは、受胎後廿八週間以前までのものを云ひ、廿九週間から卅八週間の間に生れるものを早產と呼んで居ります。

卽ち、流產によつて生れた子供は母體外で生活出來ませんが、早產の場合は所謂早生兒で、これは手當さへ行屆けば、生活出來る狀態になつてゐるのです。とは云へ赤ちやんの生活力は充分でなく、また狀態においても

生命を脅される

危險がありますから、姙娠されたら出來るだけ流早產を避けるやうにしなくてはなりません。

流早產の原因として、最も多いのは黴毒で、次に外部からの刺戟——例へば冷え込みや、身體を激動させることからも起り、或ひは心臟、腎臟の病氣からも起りますが、別段に斯うした原因のないのによく流早產する御婦人は多くの場合榮養の缺陷から來て居ります。

中でも多いのはビタミンと無機質の不足で、これが適當に補給せられないために、胎兒が滿足な發育を遂げない場合がしばしばあります。

動物實驗によると、ビタミンBの攝取を禁ずると絶對に姙娠しません、また面白い事には、印度で、北部の婦人は死產や早產が非常に少く

南部の者はその三倍

にも上つてゐると云ひますが、その原因は、北部の婦人はビタミンBやCE等の豐富な青物や小麥等を常食してゐるからで、反對に南部では之等の食物に惠まれてゐないので、姙婦にビタミンが缺乏し死產や早產が多いのであります。

次に無機質ですが、これは御承知の樣に胎兒の骨格や齒牙を造る爲に必要な成分で、特にカルシウムと鐵、燐は關係の深いものであります。從つて之が不足すると骨格の發育が不充分で流產を起し易く、また折角生れても、子供は大抵虛弱體質です。

ですから、一度でも早產や死產の好ましからぬ經驗のある方、または現在姙娠されてゐる御婦人は、特にビタミンBや無機質の攝取に心掛くべきですが、その方法としては、ビタミン劑、或ひは一二の無機榮養素を補給するに止まる單一榮養劑を選ぶよりも、若素（わかもと）の如き、衰へた胃腸を强め、而も

之等の榮養素をも

綜合的に含有する藥劑を選ぶのが、より賢明であります。

卽ち若素（わかもと）中には、含有量において生物中第一の稱あるビタミンBをはじめ、ACDEの各種ビタミンや、鐵、燐、カルシウム等の無機榮養素、リヂン、ヒスチヂン等の發育促進の効ある榮養素が網羅されて居りますが、なほその上に、胃腸の働きを强める貴重な成分も含まれて居ります。從つてこれを服用してゐますと、種々の方面から榮養が充實し、母體の衰弱も防がれて、胎兒もまた順調な發育をみる樣になるのであります。

而もこの藥劑は、一日の費用僅かに數錢といふ廉價でありますから、姙婦が家庭で用ふる藥としてまことに適當して居ります。

二日醉の豫防

酒はその人によつてそれぞれ適當の量があるもので、體質も考へないで飲み過ぎますと二日醉ひで惱まされます——惡醉、二日醉と云ふのは、いづれも急性アルコール中毒、急性胃カタルと云つた樣なものですから新陳代謝を旺んにして、體内のアルコールを速かに排泄すればいゝのですが、こんな場合に若素（わかもと）を服用しておけばいろいろの酵素やホルモン性物質、ビタミン等の作用で新陳代謝が昂まり、その上消化作用が旺んになりますから、急性胃カタルの一種である惡醉、二日醉の豫防や治療には大變有效であります。

婦人はお產で 十分の一の體重と 三百グラムの血液を失ふ

古代の分娩促進法

分娩の近づいた姙婦を寢臺に縛りつけて薪の束の上に立てかける亂暴な古代の分娩促進法・中世以後にはこんな亂暴な方法は用ひなくなつた。

お產をすると、體重は大凡十分の一減少します。卽ちお產前に十五貫あつた婦人は、お產をすると、約一貫五百匁を失つて十三貫五百匁になります。そしてお產による出血量は正規の

◇…お產 の場合で二五〇グラム（約一合四勺）ですが、三五〇グラム位までは普通であります。

この失つた三五〇グラムの血液と、一貫五百匁の體重をとり戻し產後の衰弱を恢復するにはつとめて豐富に榮養をとり入れなければならない事は申すまでもありません。

榮養と云つても、產後は胃腸も衰弱してゐますので、當分は野菜や肉のスープ、お粥、牛乳、菠薐草のおひたし等の消化の良い食餌から始めて、だんだん榮養に富んだ普通食に移るのが安當であります。產後の衰弱があまり甚だしかつたり、恢復が捗々しくなかつたりすると、抵抗力の減退から、心臟病や結核を誘發する怖れがありますし、またお乳の出も悪くなつてきます。

乳不足の場合に鯉コクやうどん、餅などを食べると食べた當座はお乳がよく出ますが、何時もたつぷり赤ちやんに飲ませ乍ら、一方產婦の衰弱を早く恢復するには、さうした食養生もさることゝ乍ら、要は努めて胃腸の機能を昂めて全身榮養をよくすることが肝要です、その方法として、現在姙產婦の方々に用ひられて好評を博してゐるのは、若素（わかもと）であります。

この藥は、ヘーフェとよばれる生活菌を活性のまゝ藥劑と成したもので、その成分中の酵素やホルモン性物質、各種ビタミン等による細胞賦活作用は、衰へた產婦の胃腸細胞を强め、消化吸收を活潑にして廣い範圍の食餌から榮養分をよく吸收させますので、全身榮養が充實して、衰弱恢復に著しい効果を齎らします。

またお乳の分泌を促すためには最近研究が進んで、種々の

◇…榮養 素の必要なことが判つてきましたが、その主なるものはビタミンB複合體及びファクターLと名づけられる新榮養素であります。

ところが前記の若素（わかもと）には、非常に多量のビタミンB複合體やまたファクターLも含まれてをりますので、胃腸强化、榮養充實の全身的な効果と相俟つて、乳汁の分泌機能が促進せられ、榮養の良いお乳が出る樣になるのであります。

この若素（わかもと）は東京芝公園大門内榮養と育兒の會（振替東京一七〇〇〇番）から三百錠入、千錠入、粉末九〇瓦入、二七〇瓦入等が一日分僅々五六錢（小兒には二、三錢）の廉價で發賣されてゐます。尚、滿洲國、中華民國の各地藥店でも取次販賣してをります。

育兒實話

月足らずで 胃腸も弱く榮養不良

（北海道）紋間きし代

佑子は昭和九年八月二十八日生れにて、出生當時月不足にて胸が小さく、虛弱、醫師より成長出來ざる旨申され、親として何人あるも、子供でも死んで良い子の有る筈はなく、まして結婚後滿五年三十歳以上になりこの初兒ですから、何で諦められませう。

生れてから三四ヶ月迄は、一寸母の食物が變つても、小兒に影響して下痢を起し、下痢するとなかなか全快せず、各方面の醫者に診察して貰ひますと、胃腸が小な上に胃腸が最も悪く榮養不良であると申されました（中略）

その時兄の勤務して居る會社の購買部で「錠劑わかもと」と云ふ藥を取扱つてゐるが、子供に誠に良いといふ噂をきゝまして安い藥だから試してみたらとの兄の言葉に從ひ、一壜六十錠のを一本買つて讀び服用させました。（中略）親の慾目か子供が何だか少し元氣になつた樣に思はれましたので、土地の醫者に診て貰ひますと、少し良くなつた樣だとの事、これに勵まされて「錠劑わかもと」を追加購入して服用を續けました。

やがて床の中から起して、抱いて玩具をみせれば喜ぶ樣になりましたので、私共夫婦の喜びは何物にも代へ難い大きなものでございました。それからは、順調に恢復しました。近所の人や醫者も感心する程健康になりました。お節句にはお世話になつた人々に來て貰いてお祝を致しました。（投書）